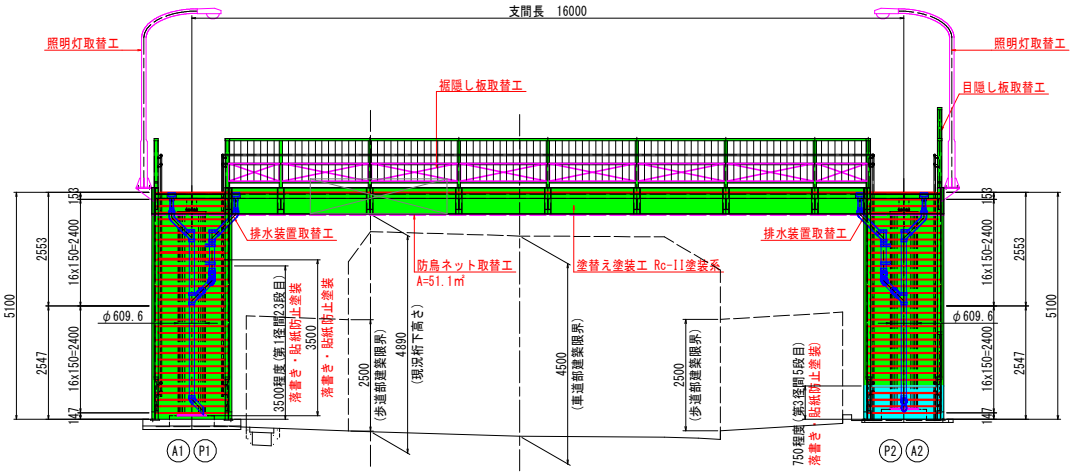
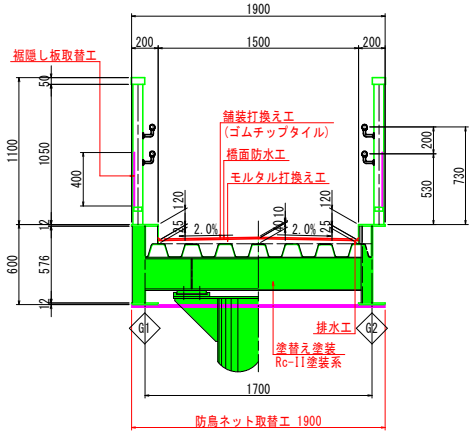
津田横断歩道橋 補修計画一般図

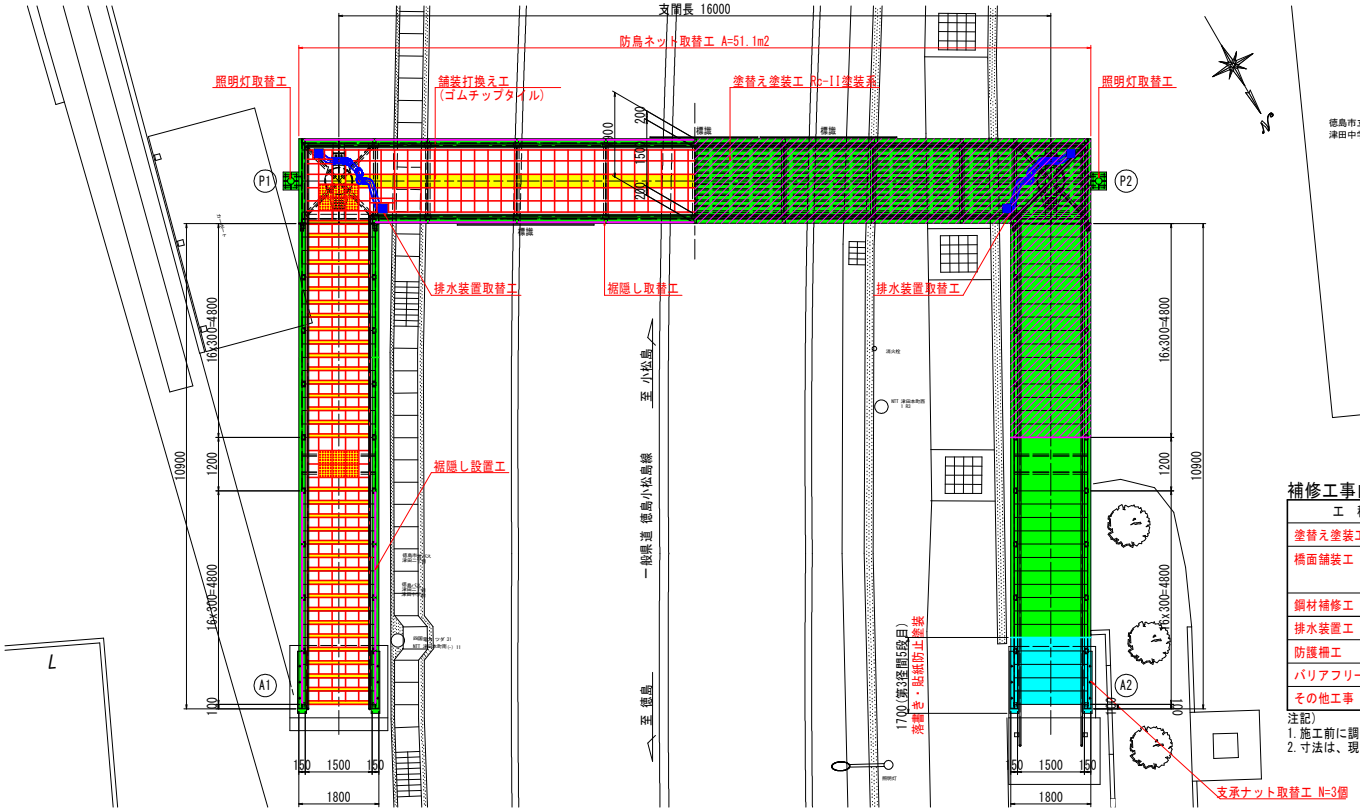
側面図 S=1:60



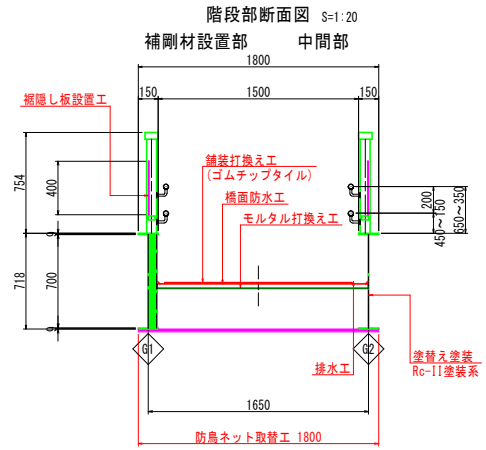
横断部断面図 S=1:20



平面図 S=1:60



階段部断面図 S=1:20



補修工事内容一覧

工種		仕様	備考
塗替え塗装工		Rc-II塗装系，落書き貼紙防止塗装	
橋面舗装工	横断部	ゴムチップタイル，橋面防水工	
	階段部	ゴムチップタイル，橋面防水工	
鋼材補修工	階段部	紫外線硬化型FRPシート，支承ナット取替	
排水装置工	横断部	排水装置取替工	
防護柵工		掘隠し板取替工，目隠し板取替工	
バリアフリー対策工		視覚障がい者用誘導タイル設置（横断部，階段部）	
その他工事		照明灯取替工，防鳥ネット取替工，シール工（橋脚部）	

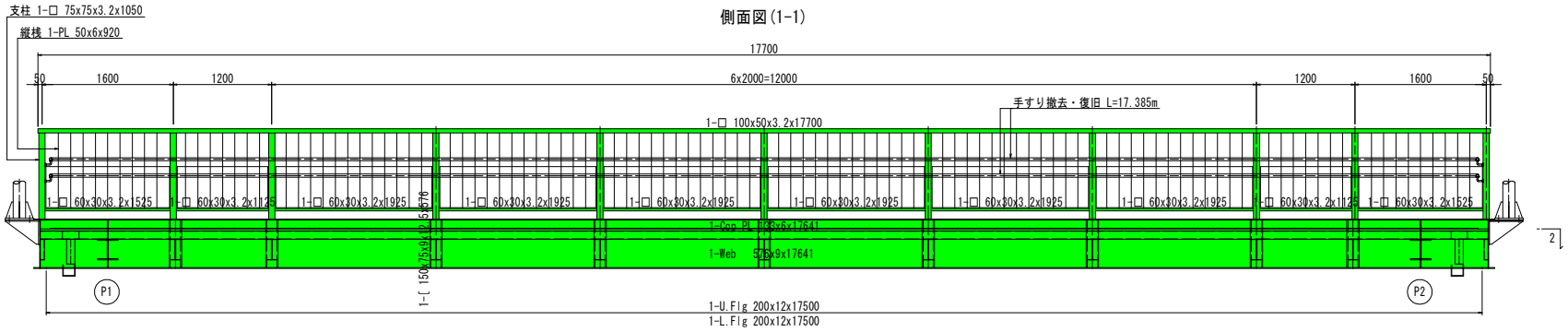
注記）
1. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
2. 寸法は、現場実測後決定する。

【実施設計図面】

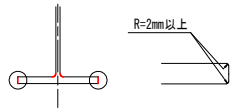
工事名	R８徳土 徳島小松島線他（津田横断歩道橋他）徳・津田本他 歩道橋修繕工事（道指）		
路線名等	徳島小松島線他		
工事箇所	徳島市津田本町他（津田横断歩道橋他）		
図面名	津田横断歩道橋 補修計画一般図		
縮尺	図示	図面番号	1 ／ 22
年度	令和８年度		
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所		

津田横断歩道橋 塗替え塗装工詳細図(1/4) S=1:30
横断部

側面図(1-1)

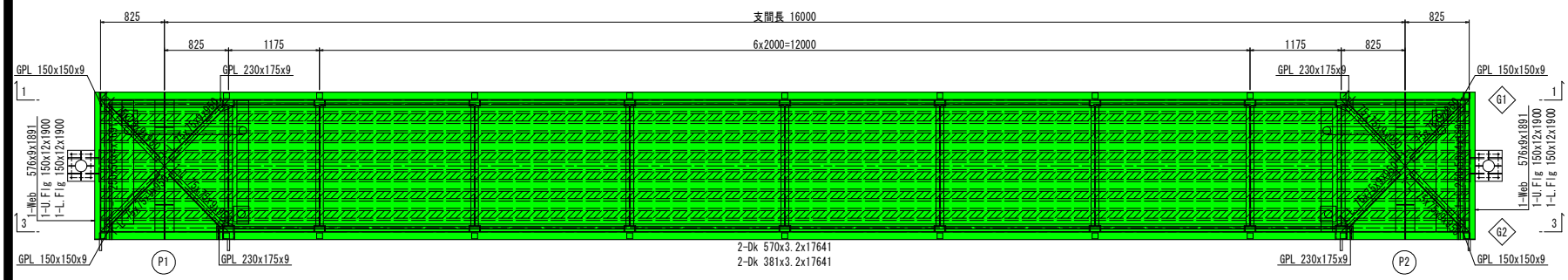


部材の角部処理

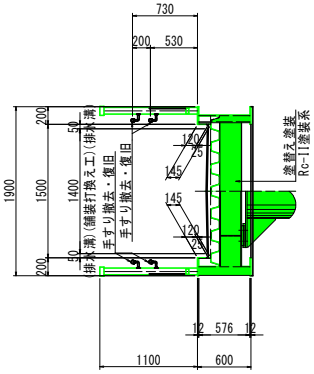


注記)
1. 塗り替え塗装の対象となる範囲の、自由端角部は図に示すようにグラインダー等により曲面加工を行う。ただし、素地調整後に角部処理が確認できた場合は、施工対象としない。
2. 処理延長は、現場での施工延長を計上し確定する。

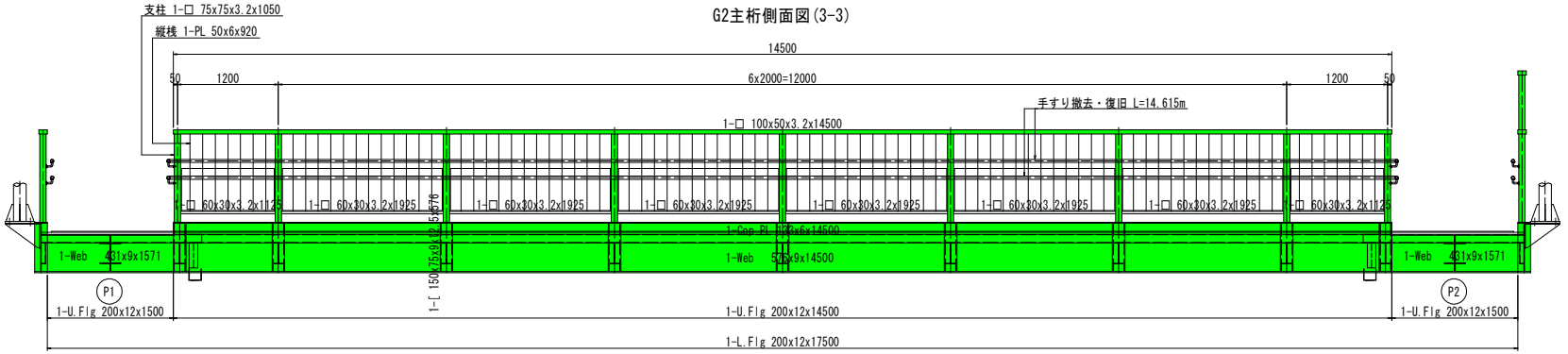
平面図(2-2)



上部工断面図



G2主桁側面図(3-3)



凡例

	RC-II塗装系
	RC-II塗装系 + 落書き・貼り紙防止塗装

注記)
1. 本橋の既存塗装材料には，「鉛又はその化合物」が含まれているため，鉛中毒予防規則等関係法令に従い，湿式による作業の実施，作業主任者の選任と適切な作業指揮の実施，有効な保護具の着用等を実施する。
※) 過年度塗膜調査にて確認済み。
2. 本橋の素地調整工法には，「塗膜剥離剤」を使用した工法を基本にしているが構造細部等で素地調整が十分でない箇所は，工具等で適宜素地調整の補完作業を行うこと。
3. 湿式塗膜剥離剤は，剥離試験を実施し適正を確認すること。
4. 塗装前には，付着塩化物量が50mg/m2以下になっていることを確認した後，塗装を行うものとする。
5. 階段部および支柱の下側には，「落書き・貼紙防止塗装」を施す。
6. 塗膜除去作業により発生した廃棄物は，関係法令に従って特別管理産業廃棄物の特定有害鉱さい(鉛)として処理すること。

【実施設計図面】

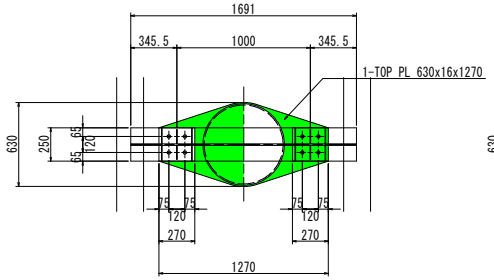
工事名	R8徳土 徳島小松島線他（津田横断歩道橋他） 徳・津田本他 歩道橋修繕工事（着指）		
路線名等	徳島小松島線他		
工事箇所	徳島市津田本町他（津田横断歩道橋他）		
図面名	津田横断歩道橋 塗替え塗装工詳細図(1/4)		
縮尺	S=1:30	図面番号	2 / 22
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所		

津田横断歩道橋 塗替え塗装工詳細図(2/4)
横断部

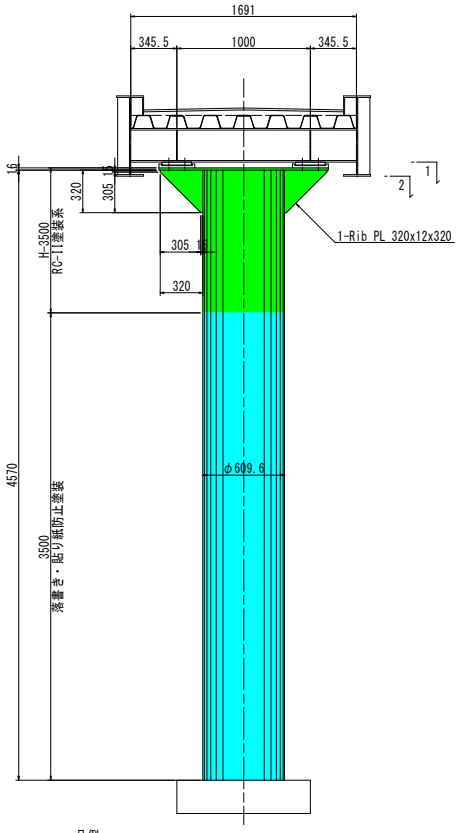
P1橋脚 S=1:20

平面図

1 - 1　　2 - 2



正面図



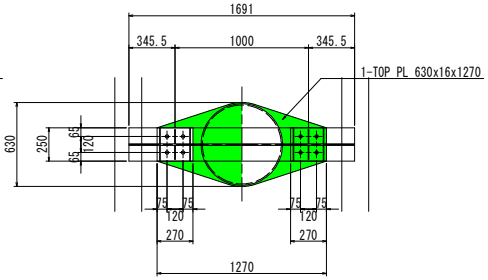
凡例

	RC-II塗装系
	RC-II塗装系 + 落書き・貼り紙防止塗装

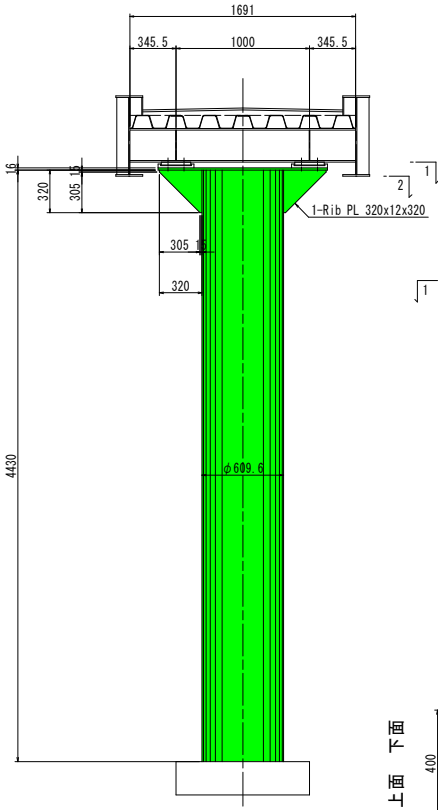
P2橋脚 S=1:20

平面図

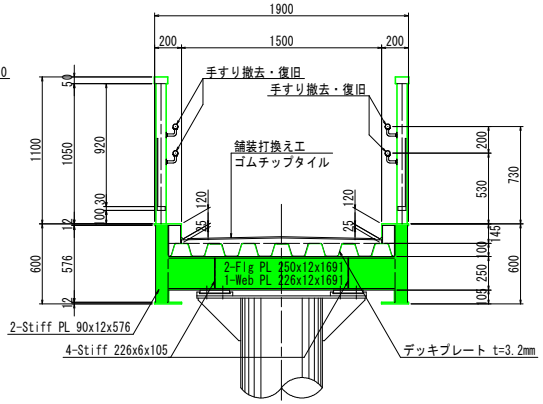
1 - 1　　2 - 2



正面図

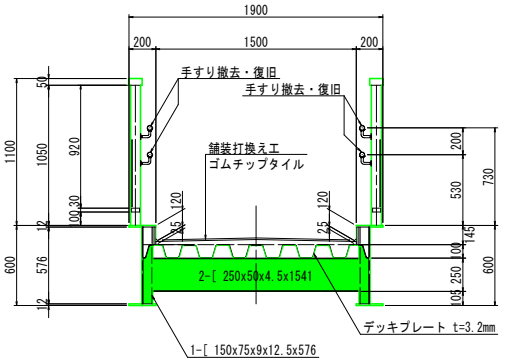


支点部



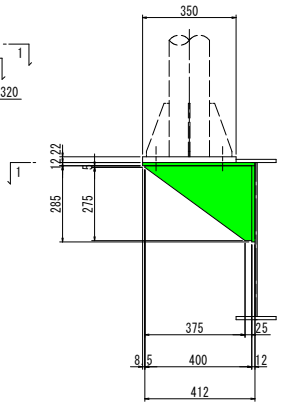
上部工断面図 S=1:20

中間部

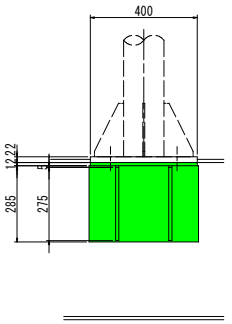


照明灯支柱基部 S=1:10

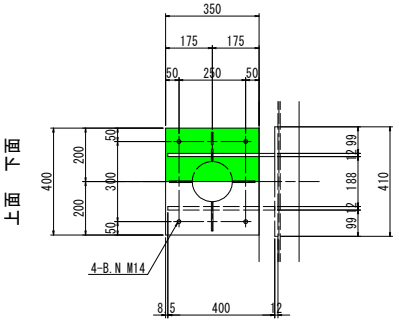
側面図



正面図

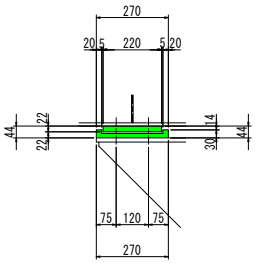


平面図(1-1)

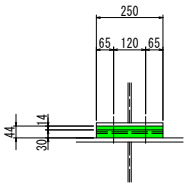


支承詳細図 S=1:10

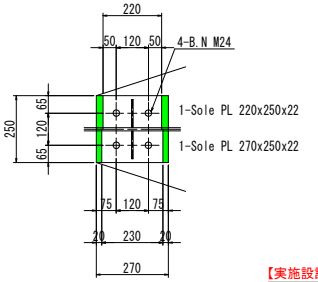
正面図



側面図



平面図

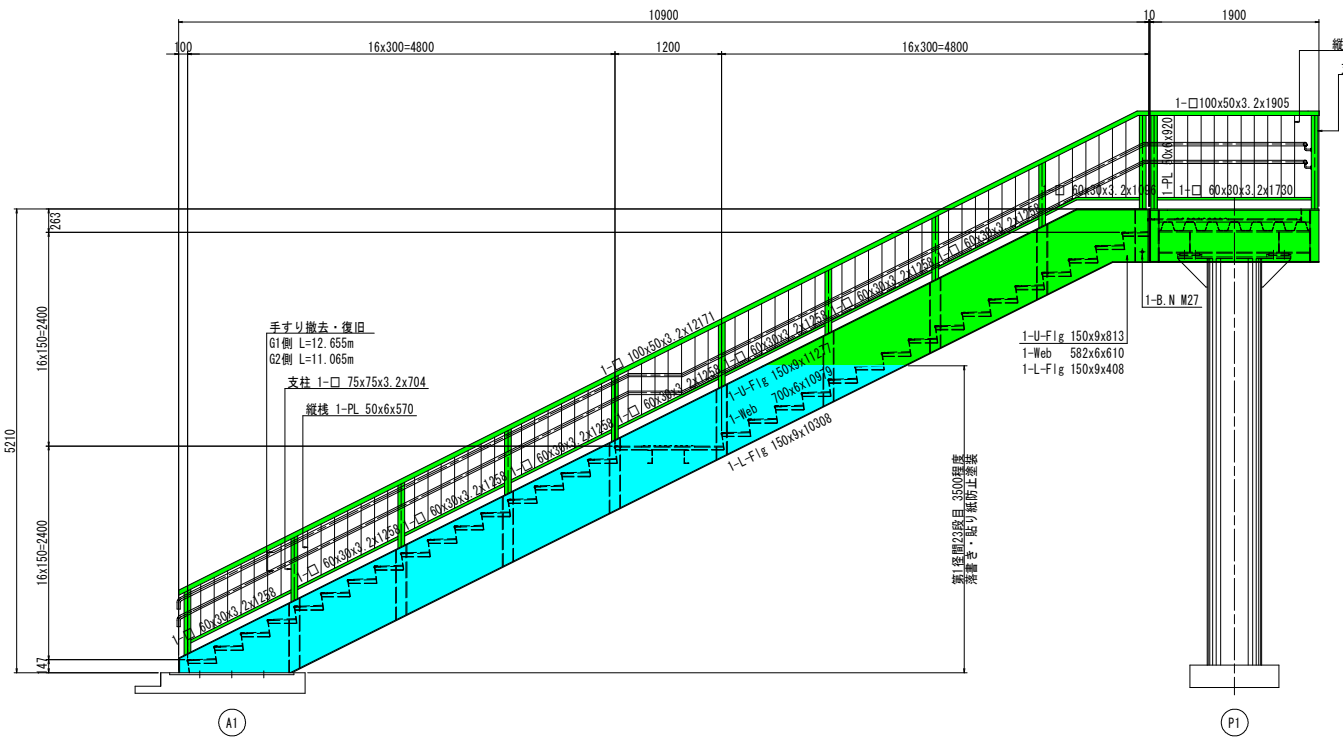


【実施設計図面】

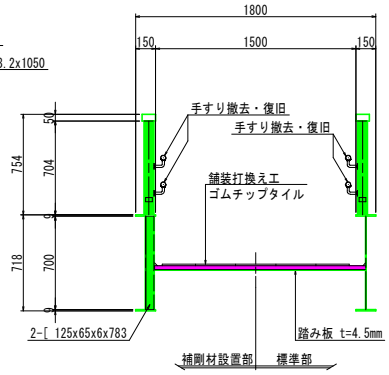
工事名	R8徳土　徳島小松島線他（津田横断歩道橋他） 徳・津田本他　歩道橋修繕工事（道指）
路線名等	徳島小松島線他
工事箇所	徳島市津田本町他（津田横断歩道橋他）
図面名	津田横断歩道橋 塗替え塗装工詳細図(2/4)
縮尺	図示　　図面番号　3 / 22
年度	令和8年度
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所

津田横断歩道橋 塗替え塗装工詳細図(3/4)
第1径間階段部

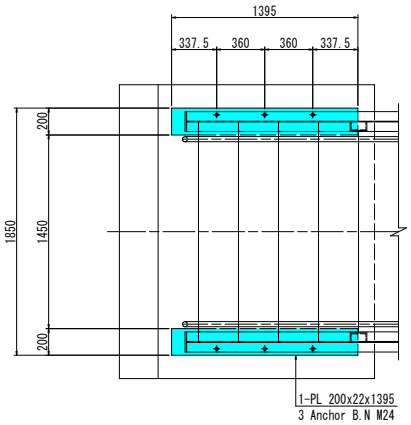
側面図(外面) S=1:30



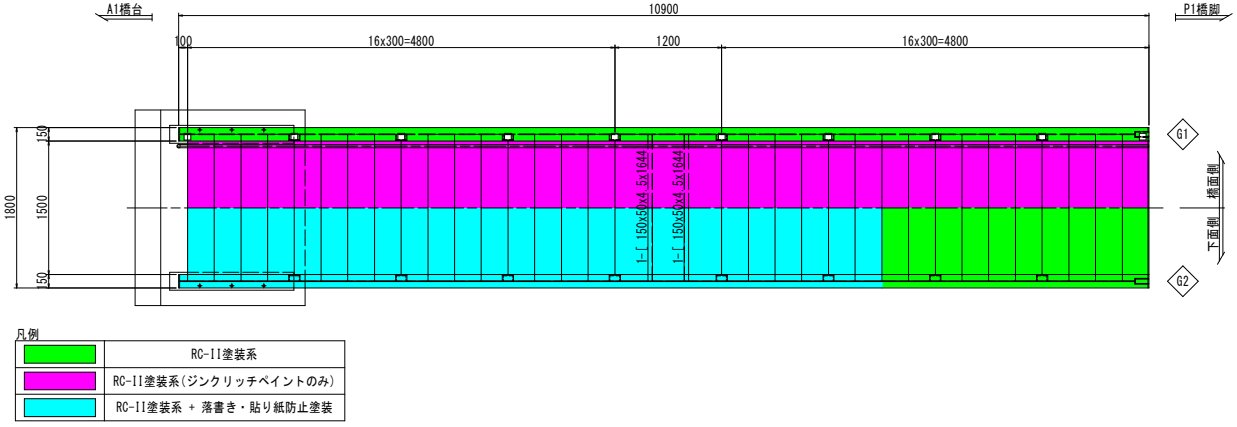
階段部断面図 S=1:20



A1橋台平面図 S=1:20



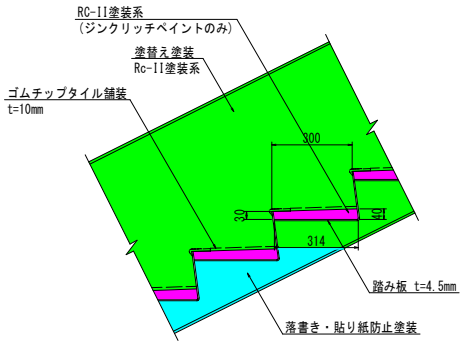
平面図 S=1:30



凡例

	RC-II塗装系
	RC-II塗装系(ジンクリッチペイントのみ)
	RC-II塗装系 + 落書き・貼り紙防止塗装

階段主桁内面側 S=1:10

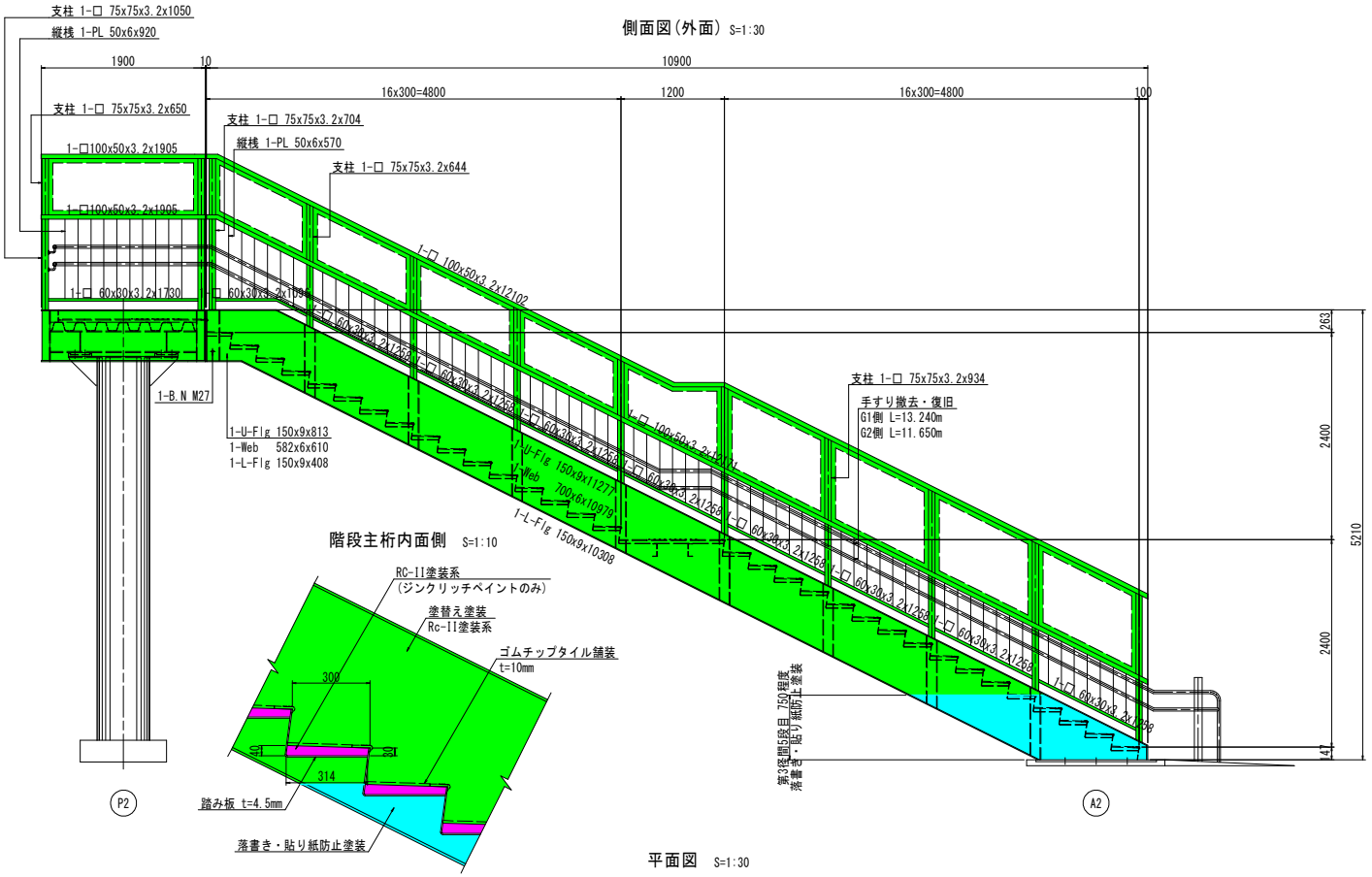


【実施設計図面】

工事名	R8徳土 徳島小松島線他(津田横断歩道橋他) 徳・津田本他 歩道橋修繕工事(道指)
路線名等	徳島小松島線他
工事箇所	徳島市津田本町他(津田横断歩道橋他)
図面名	津田横断歩道橋 塗替え塗装工詳細図(3/4)
縮尺	図示
図面番号	4 / 22
年度	令和8年度
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所

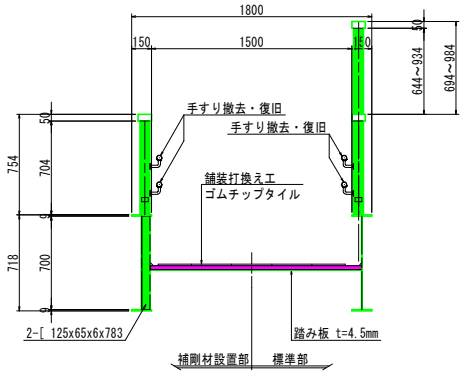
津田横断歩道橋 塗替え塗装工詳細図(4/4)
第3径間階段部

側面図(外面) S=1:30

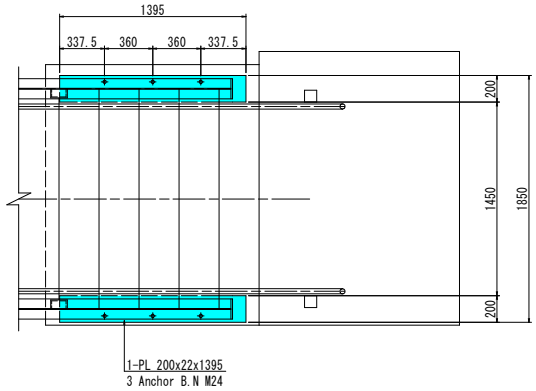


階段主桁内面側 S=1:10

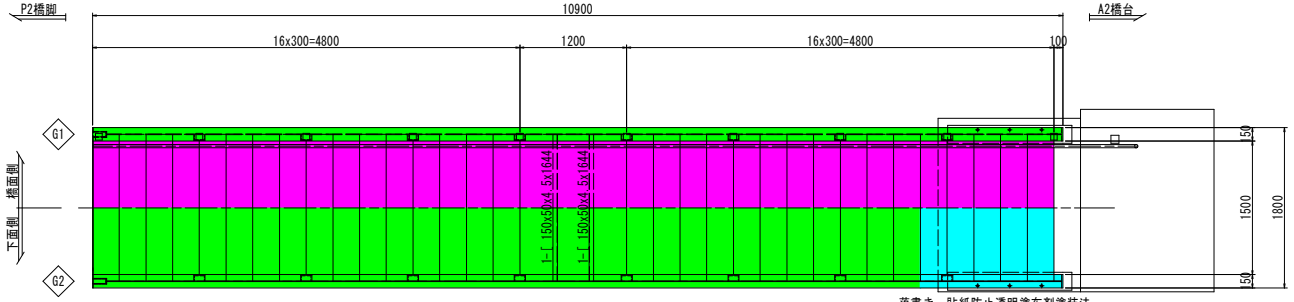
階段部断面図 S=1:20



A2橋台平面図 S=1:20



平面図 S=1:30



凡例

	RC-II塗装系
	RC-II塗装系(ジンクリッチペイントのみ)
	RC-II塗装系 + 落書き・貼り紙防止塗装

落書き，貼紙防止透明塗布剤塗装法

塗装方法	刷毛、ローラー塗り
希釈率	0%
標準使用量※1	0.07~0.08kg/m3(ロス率含む)
標準膜厚	15μm
ウエット管理膜厚	50μm

※1:乾燥遅延を目的とした希釈が必要な場合は、5%以下とする。

塗替え塗装工

塗替え塗装仕様：Rc-II塗装系（はけ，ローラー）

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m2)	標準膜厚 (μm)	塗料間隔
素地調整	2 種			4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント ※1	600	--	1日~10日※2
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	60	1日~10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	60	1日~10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	30	1日~10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	25	---
クリアー ※3	落書き，貼紙防止透明塗布剤	70~80	15	

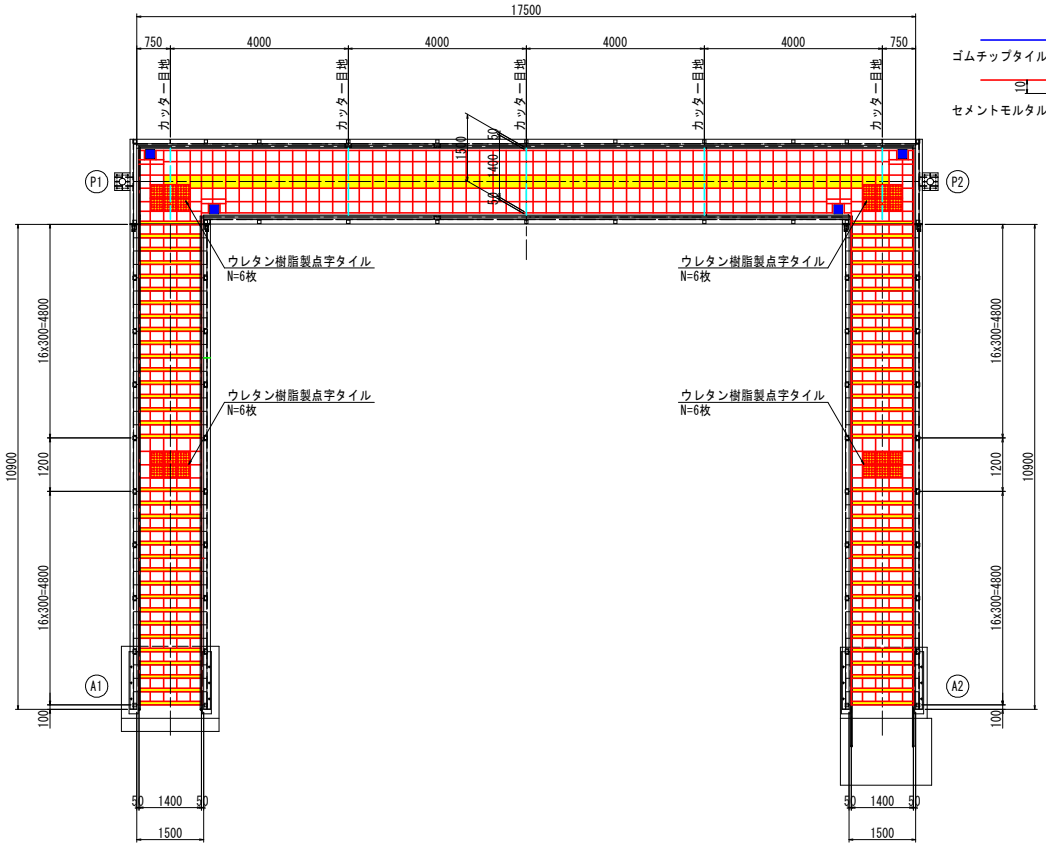
※1:素地調整程度2種ではあるが，健全なジンクプライマーやジンクリッチペイントを残し，ほかの旧塗膜を全面除去した場合は，鋼材露出部のみ有機ジンクリッチペイントを塗布する。この際，使用量の目安は240g/m2程度とする。素地調整程度2種で旧塗膜を全面除去した場合は，有機ジンクリッチペイントの使用量を600g/m2とする。
※2:現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
※3:階段下面及び橋脚支柱下部のみ落書き，貼紙防止透明塗布剤を塗布する。

【実施設計図面】

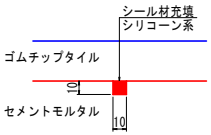
工事名	R8徳土 徳島小松島線他（津田横断歩道橋他） 徳・津田本他 歩道橋修繕工事（岩指）
路線名等	徳島小松島線他
工事箇所	徳島市津田本町他（津田横断歩道橋他）
図面名	津田横断歩道橋 塗替え塗装工詳細図(4/4)
縮尺	図示
図面番号	5 / 22
年度	令和8年度
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所

津田横断歩道橋 舗装工詳細図(1/2)

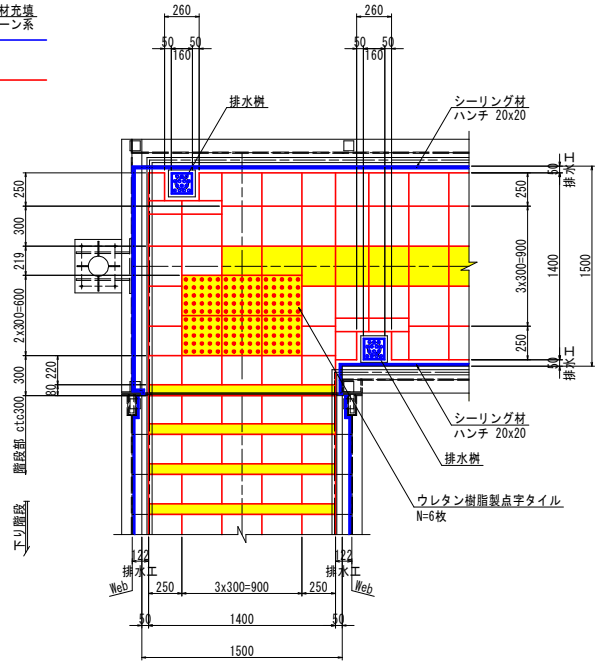
平面図 S=1:60



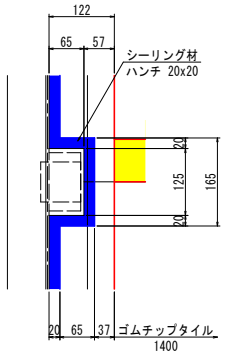
カッター目地詳細図 S=1:2



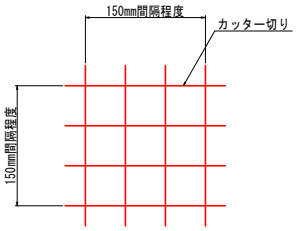
P1橋脚部平面図 S=1:20



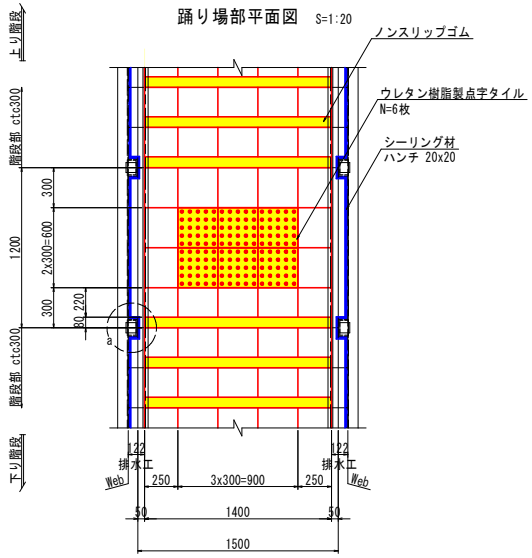
a部詳細図 S=1:5



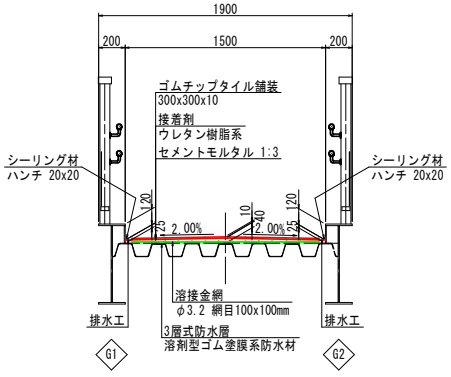
モルタルカッター切り要領図 S=1:10



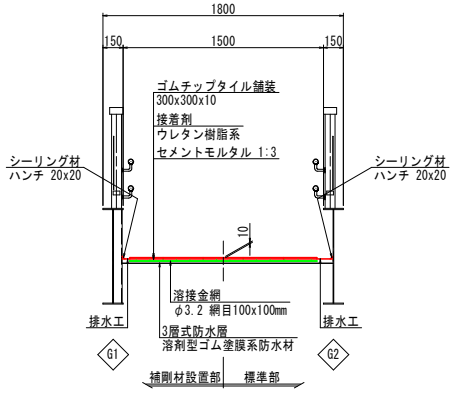
踊り場部平面図 S=1:20



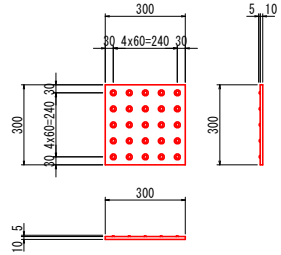
横断部断面図 S=1:20



階段部断面図 S=1:20



視覚障がい者用誘導タイル S=1:10
ウレタン樹脂製点字タイル



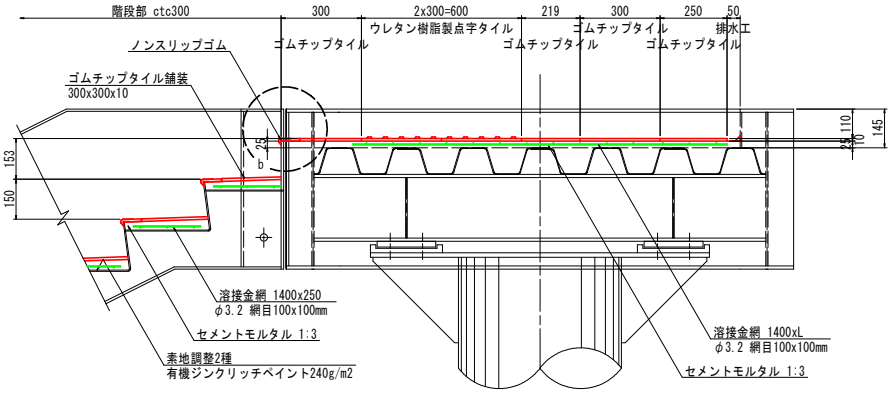
注記)
1. 工事着手前に現橋の再計測を行い施工範囲を確認すること。
2. ゴムチップタイルの割り付けは，施工範囲を確認した後，適宜現場に合うよう変更対応のこと。
3. 使用する材料は，担当者に承認をうけること。
4. モルタルを取り壊す際は，細かくカッターを入れ容易にはつりを行えるようにし，騒音に配慮した施工を行うこと。

【実施設計図面】

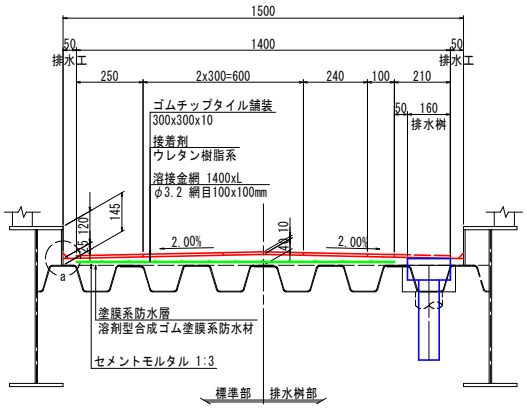
工事名	R8徳土 徳島小松島線他（津田横断歩道橋他） 徳・津田本他 歩道橋修繕工事（岩指）
路線名等	徳島小松島線他
工事箇所	徳島市津田本町他（津田横断歩道橋他）
図面名	津田横断歩道橋 舗装工詳細図(1/2)
縮尺	図示
図面番号	6 / 22
年度	令和8年度
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所

津田横断歩道橋 舗装工詳細図(2/2)

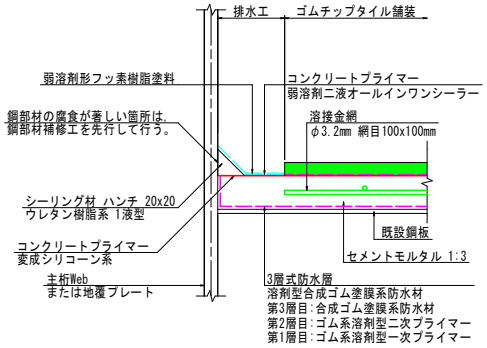
P1，P2橋脚部側面図 S=1:10



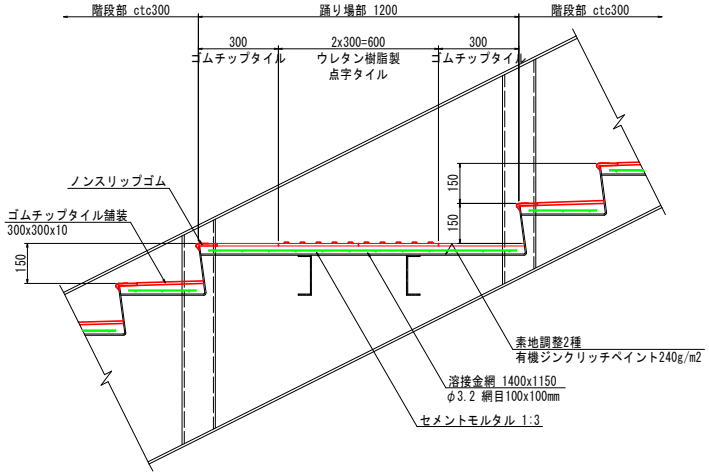
横断部断面図 S=1:10



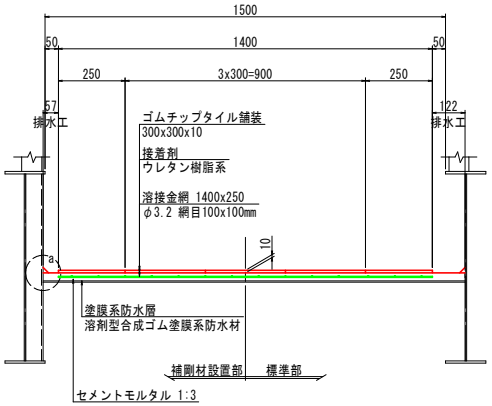
a部詳細図 S=1:2



踊り場部側面図 S=1:10



階段部断面図 S=1:10



概略施工手順

1) 既設舗装材及び調整モルタルの撤去
2) 施工面の下地調整(不陸整正，素地調整(2種)，有機ジンクリッチペイント240g/m2を塗布)
3) 3層式防水層(溶剤型合成ゴム塗膜系防水材)塗布
4) 溶接金網配置，セメントモルタル打設
5) 下地面の排水勾配の確保
6) 下地のほこり，ゴミ，油分などを完全に除去し清掃
7) 芯出し，位置決め
8) 接着剤の塗布(施工面積，接着剤放置時間に注意)
・貼り合わせ作業は、2～3m2単位で繰り返し行う。
・標準塗布量は約600g/m2である。

	夏(25～35℃)	春・秋(15～25℃)	冬(5～15℃)
下地となじませ	10～20分	15～25分	20～30分
貼合せ可能時間	40～60分	50～70分	60～80分
標準硬化時間	約1日	約1日	約1日

9) ゴムチップ平板の貼り合わせ(場所によりカッター切断)
10) ローラなどで転圧し，よく圧着させる

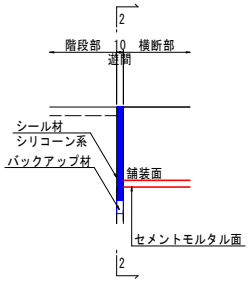
注記) 施工手順及び仕様は、使用する製品の施工要領書に準じる。

使用材料性能表

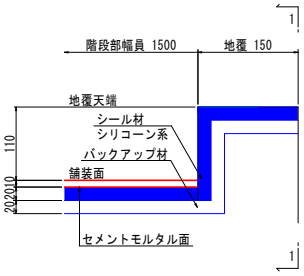
	使用標準値	備　考
引っ張り強さ	0.6 Mpa	JIS K 6251 に準じる
伸び率	93 %	JIS K 6251 に準じる
硬さ	62 C Type	JIS K 6253 に準じる
衝撃吸収性	80～98G	JIS A 6519 に準じる
滑り抵抗CSR (DRY/Wet)	0.73 CSR / 0.73 CSR	JIS A 1454 に準じる
透水性	0.7 cm/sec	日本道路建設業協会

b部詳細図 S=1:4

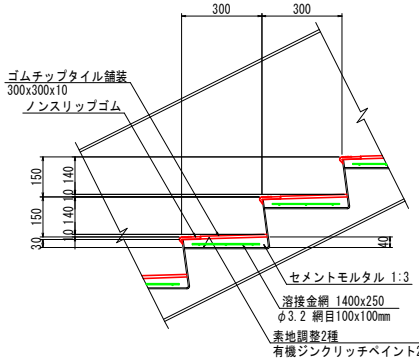
1-1断面



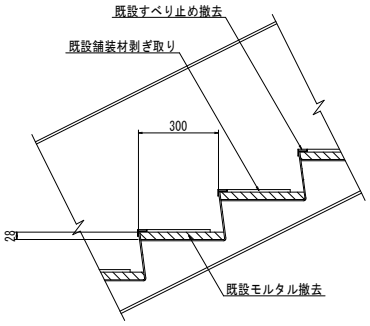
2-2断面



階段部舗装工詳細図 S=1:10



階段部取り壊し詳細図 S=1:10



ゴム溶剤3層式防水層使用量

	工程	塗布量	養生時間
第1層	下塗り	300g/m2(Wet)	40分以上
第2層	中塗り	300g/m2(Wet)	40分以上
第3層	上塗り	300g/m2(Wet)	40分以上

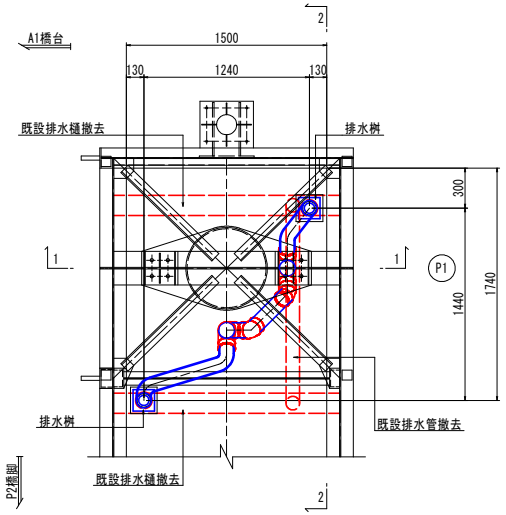
注記) 表中の塗布量にはロス率を含む。

【実施設計図面】

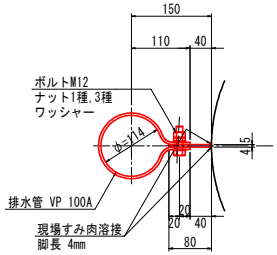
工事名	R8徳土　徳島小松島線他（津田横断歩道橋他） 徳・津田本他　歩道橋修繕工事（道指）
路線名等	徳島小松島線他
工事箇所	徳島市津田本町他（津田横断歩道橋他）
図面名	津田横断歩道橋 舗装工詳細図(2/2)
縮尺	図示　図面番号 7 / 22
年度	令和8年度
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所

津田横断歩道橋 排水装置取替え工詳細図(1/2)
P1橋脚部

平面図 S=1:20



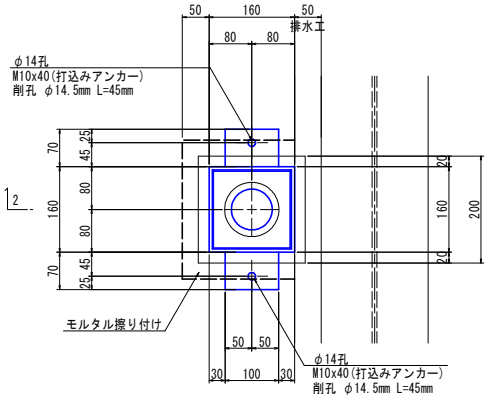
取付金具詳細図 S=1:5



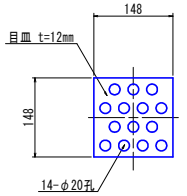
取付金具 1.0箇所当たり
(製作数 N=2.0基)
1 - PL 50 x 4.5 x 446 (SS400)
1 - PL 50 x 4.5 x 80 (SM400)
1 - ボルト M12x45 (2-W付)
1 - ナット 1種
1 - ナット 3種

排水桝詳細図 S=1:5

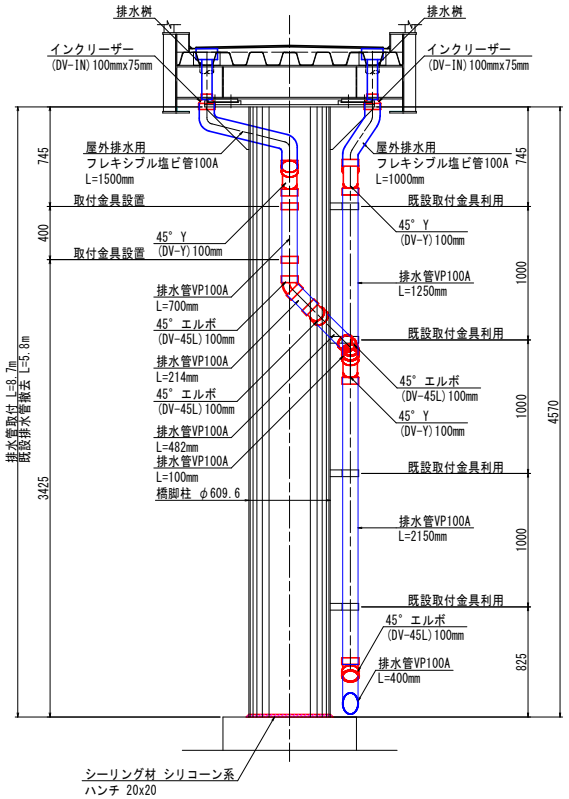
平面図(1-1)



目皿詳細図

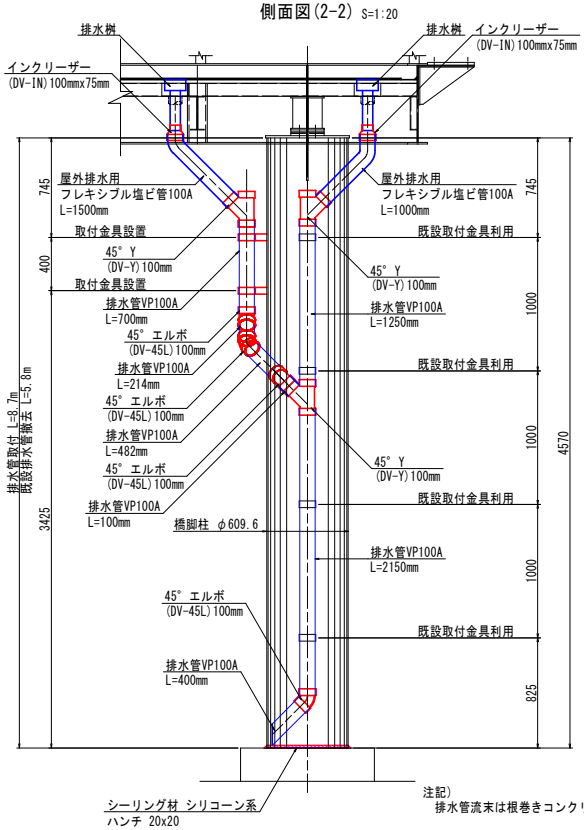


正面図(1-1) S=1:20



シーリング材 シリコーン系
ハンチ 20x20

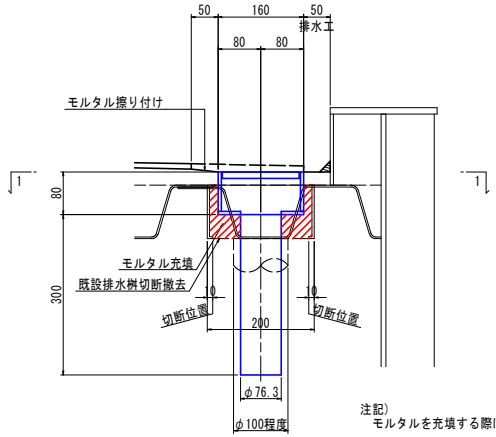
側面図(2-2) S=1:20



シーリング材 シリコーン系
ハンチ 20x20

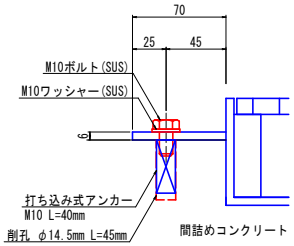
注記)
排水管流末は根巻きコンクリートの外に出すこと。

側面図(2-2)



注記)
モルタルを充填する際は，型枠および支保を設置すること。

排水桝固定部(参考図) S=1:2



排水装置補修内容一覧表

名称	仕様・規格	単位	P1側	備考
排水桝	ステンレス排水桝	基	2	
インクリーザー	DV-IN-100mmx75mm	個	2	
フレキシブル塩ビ管	100A L=1000mm(屋外排水用)	本	1	屋外用
フレキシブル塩ビ管	100A L=1500mm(屋外排水用)	本	1	屋外用
排水管	VP100A	m	5.3	
45° Y	DV-45Y-100mm	個	3	
45° エルボ	DV-45L-100mm	個	4	
取付金具	t≦38mm SS400, SM400	基	2	

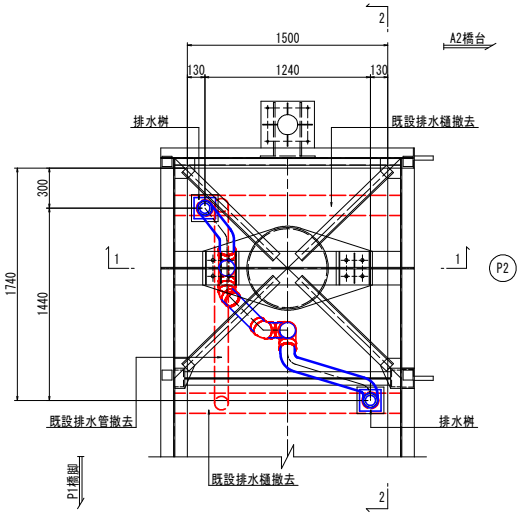
注記)
1. 排水桝の材質は特記無き場合は，すべてSUS304とする。
2. 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
3. 現地調査にて寸法確定後製作すること。

【実施設計図面】

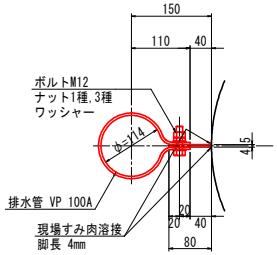
工事名	R8徳土 徳島小松島線他（津田横断歩道橋他） 徳・津田本他 歩道橋修繕工事（岩指）
路線名等	徳島小松島線他
工事箇所	徳島市津田本町他（津田横断歩道橋他）
図面名	津田横断歩道橋 排水装置取替え工詳細図(1/2)
縮尺	図示
図面番号	8 / 22
年度	令和8年度
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所

津田横断歩道橋 排水装置取替え工詳細図(2/2)
P2橋脚部

平面図 S=1:20



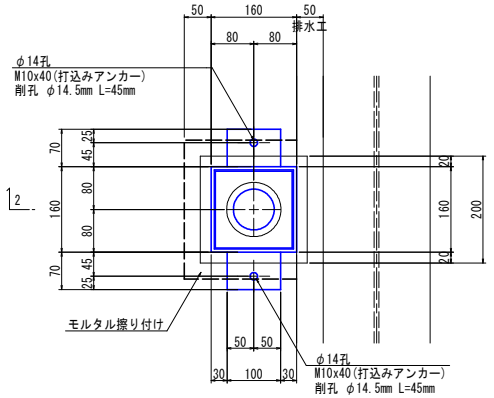
取付金具詳細図 S=1:5



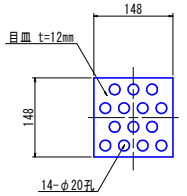
取付金具 1.0箇所当たり
(製作数 N=2.0基)
1 - PL 50 x 4.5 x 446 (SS400)
1 - PL 50 x 4.5 x 80 (SM400)
1 - ボルト M12x45 (2-W付)
1 - ナット 1種
1 - ナット 3種

排水桝詳細図 S=1:5

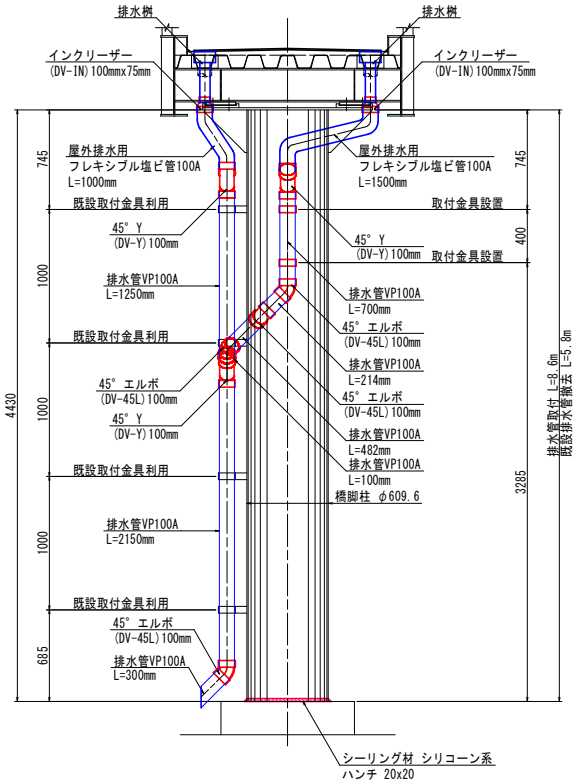
平面図(1-1)



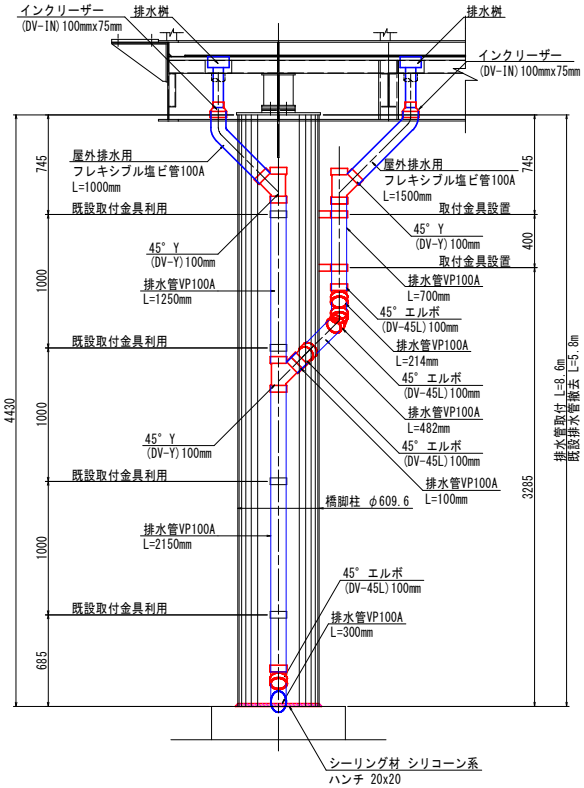
目皿詳細図



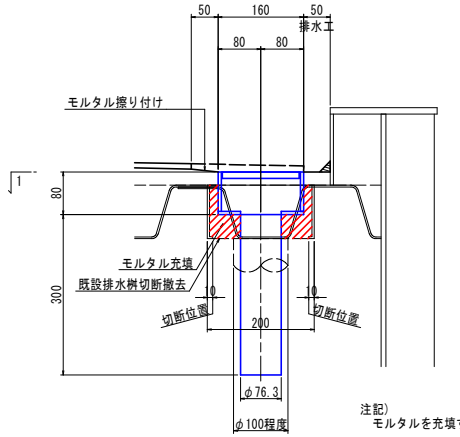
正面図(1-1) S=1:20



側面図(2-2) S=1:20

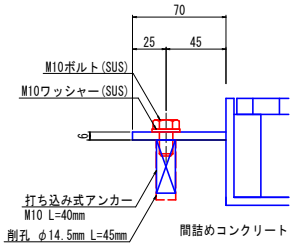


側面図(2-2) S=1:20



注記)
モルタルを充填する際は，型枠および支保を設置すること。

排水桝固定部(参考図) S=1:2



排水装置補修内容一覧表

名称	仕様・規格	単位	P2側	備考
排水桝	ステンレス排水桝	基	2	
インクリーザー	DV-IN-100mmx75mm	個	2	
フレキシブル塩ビ管	100A L=1000mm(屋外排水用)	本	1	屋外用
フレキシブル塩ビ管	100A L=1500mm(屋外排水用)	本	1	屋外用
排水管	VP100A	m	5.2	
45° Y	DV-45Y-100mm	個	3	
45° エルボ	DV-45L-100mm	個	4	
取付金具	t≦38mm SS400, SM400	基	2	

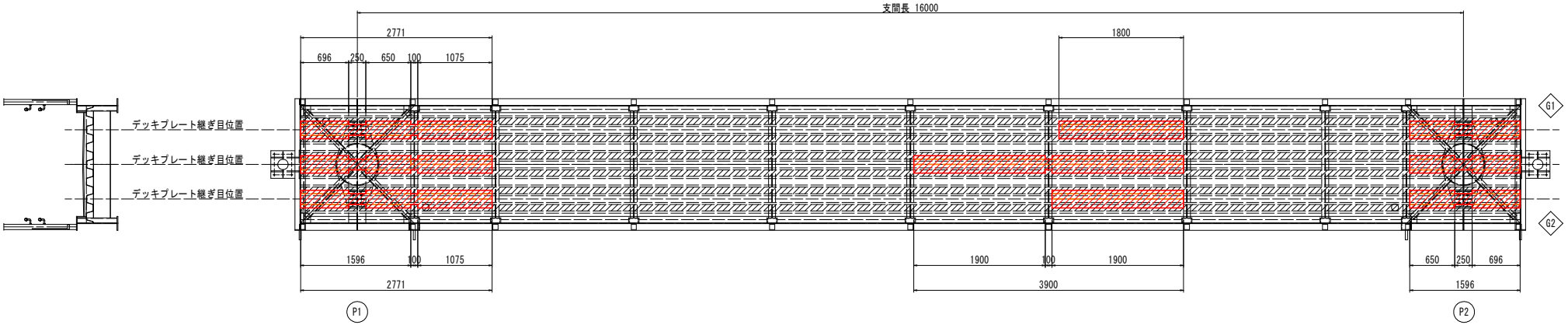
注記)
1. 排水桝の材質は特記無き場合は，すべてSUS304とする。
2. 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
3. 現地調査にて寸法確定後製作すること。

【実施設計図面】

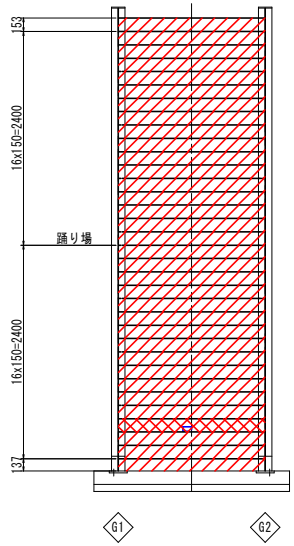
工事名	R8徳土 徳島小松島線他(津田横断歩道橋他) 徳・津田本他 歩道橋修繕工事(道指)
路線名等	徳島小松島線他
工事箇所	徳島市津田本町他(津田横断歩道橋他)
図面名	津田横断歩道橋 排水装置取替え工詳細図(2/2)
縮尺	図示
図面番号	9 / 22
年度	令和8年度
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所

津田横断歩道橋 鋼部材補修工詳細図(1/2)

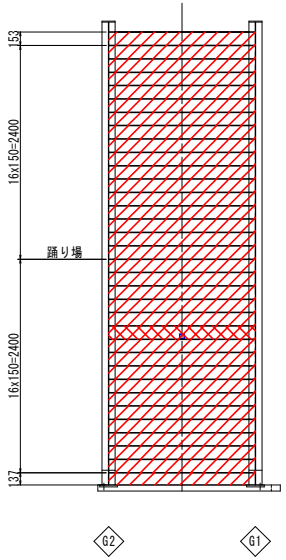
横断部平面図 S=1:30



起点側階段正面図 S=1:30



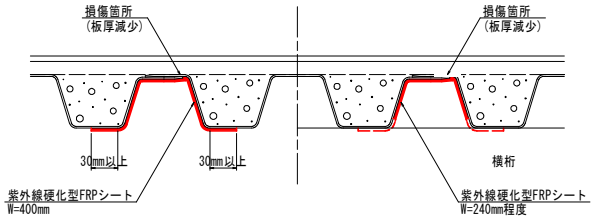
終点側階段正面図 S=1:30



鋼部材断面修復工詳細図 S=1:5

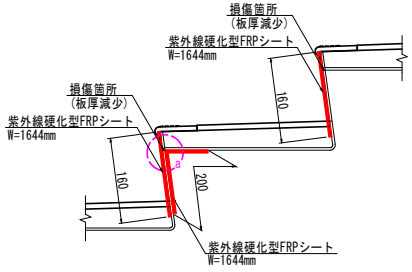
床版下面

中間部

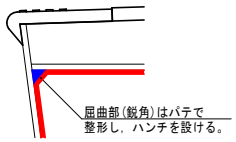


横桁部

階段部



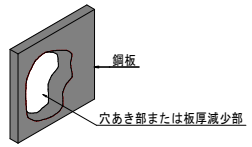
a部拡大図



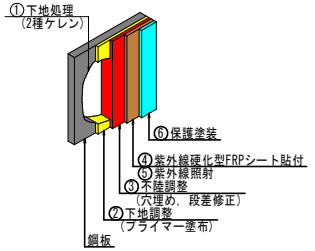
紫外線硬化型FRPシート設置工

［紫外線照射あり］

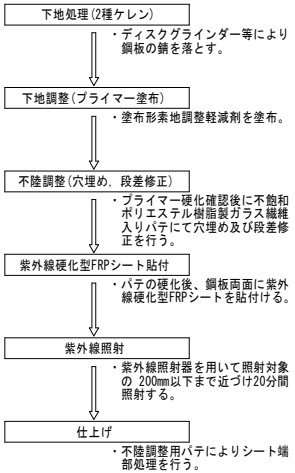
現 状



補 修



施工フロー図



凡例

	紫外線硬化型FRPシート張付け範囲(正面)
	紫外線硬化型FRPシート張付け範囲(両面)
	損傷箇所(板厚減少)
	損傷箇所(孔食)

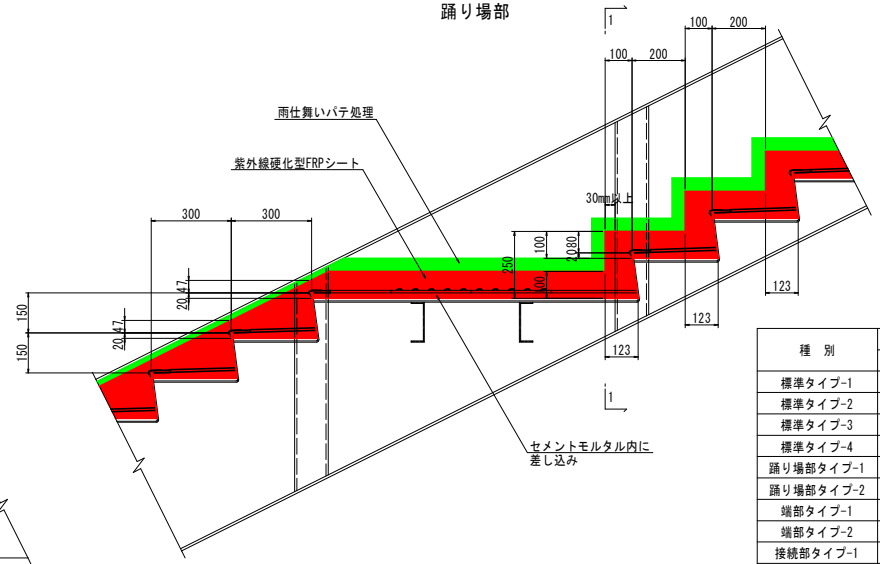
注記)
1. 工事着手前に現橋の再計測を行い施工範囲を確認すること。
2. 紫外線硬化型FRPシートの端部は平坦面に30mm以上の張付け白を確保すること。
   また，鋭角部内側に貼る場合は，シートの跳ね上がりを防止するために，パテ剤でハンチを設けた上で施工すること。
3. 連続するシートの継ぎ目は短冊状のシートを重ね貼りし，隙間が生じないよう配慮すること。
3. シート端部は硬化後にパテを用いた雨仕舞い処理を行うこと。
4. 紫外線硬化型FRPシートの加工寸法は現地計測後に決定すること。
5. ケレン作業等により新たに孔食が発見された場合は，発注者と協議の上で施工範囲を変更すること。

【実施設計図面】

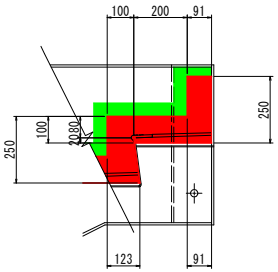
工事名	R8徳土 徳島小松島線他（津田横断歩道橋他）徳・津田本他 歩道橋修繕工事（岩指）		
路線名等	徳島小松島線他		
工事箇所	徳島市津田本町他（津田横断歩道橋他）		
図面名	津田横断歩道橋 鋼部材補修工詳細図(1/2)		
縮尺	図示	図面番号	10 ／ 22
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所		

津田横断歩道橋 鋼部材補修工詳細図(2/2)

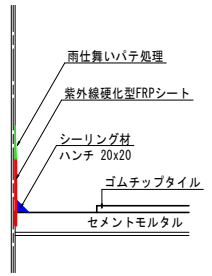
階段部側面図 S=1:10
踊り場部



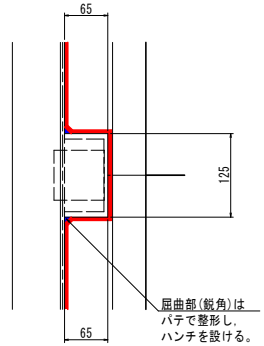
接続部



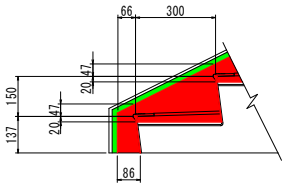
1-1断面図 S=1:4



補剛材設置部平面図 S=1:4



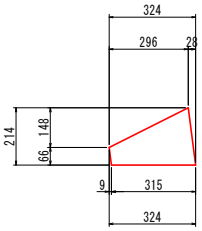
橋台部



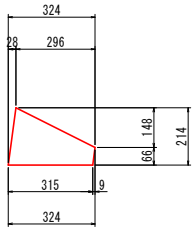
種 別	第1径間		第3径間		備 考
	G1側	G2側	G1側	G2側	
標準タイプ-1	16	-	-	16	
標準タイプ-2	-	16	16	-	
標準タイプ-3	15	-	-	15	
標準タイプ-4	-	15	15	-	
踊り場部タイプ-1	1	-	-	1	
踊り場部タイプ-2	-	1	1	-	
端部タイプ-1	1	-	-	1	
端部タイプ-2	-	1	1	-	
接続部タイプ-1	1	-	-	1	
接続部タイプ-2	-	1	1	-	

地覆部紫外線硬化型FRPシート加工図 S=1:10

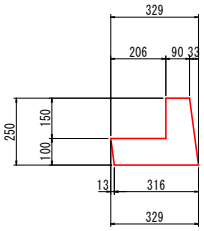
標準タイプ-1



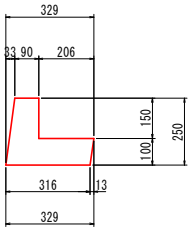
標準タイプ-2



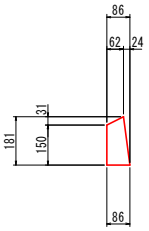
標準タイプ-3



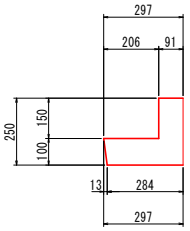
標準タイプ-4



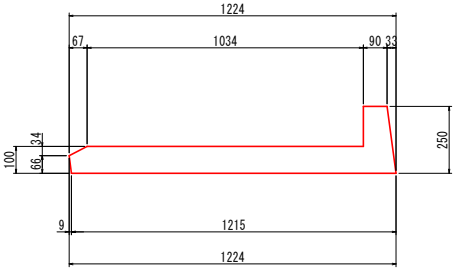
端部タイプ-1



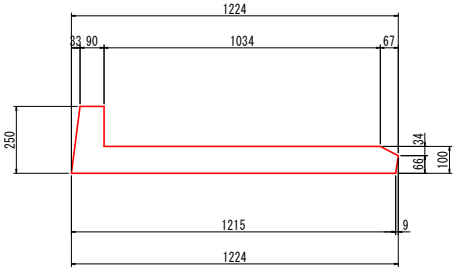
接続部タイプ-1



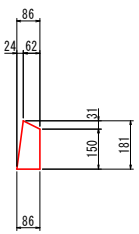
踊り場部タイプ-1



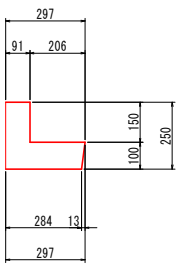
踊り場部タイプ-2



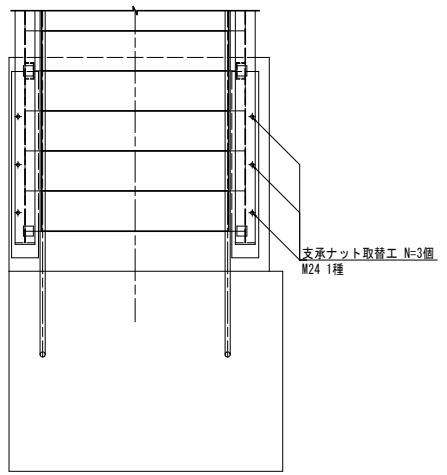
端部タイプ-2



接続部タイプ-2



A2支承補修工詳細図 S=1:20
A2橋台平面図



注記)
1. 工事着手前に現橋の再計測を行い施工範囲を確認すること。
2. 紫外線硬化型FRPシートの端部は平坦面に30mm以上の張付け白を確保すること。
   また，鋭角部内側に貼る場合は，シートの跳ね上がりを防止するために，パテ剤でハンチを設けた上で施工すること。
3. 連続するシートの継ぎ目は短冊状のシートを重ね貼りし，隙間が生じないよう配慮すること。
3. シート端部は硬化後にパテを用いた雨仕舞い処理を行うこと。
4. 紫外線硬化型FRPシートの加工寸法は現地計測後に決定すること。
5. ケレン作業等により新たに孔食が発見された場合は，発注者と協議の上で施工範囲を変更すること。

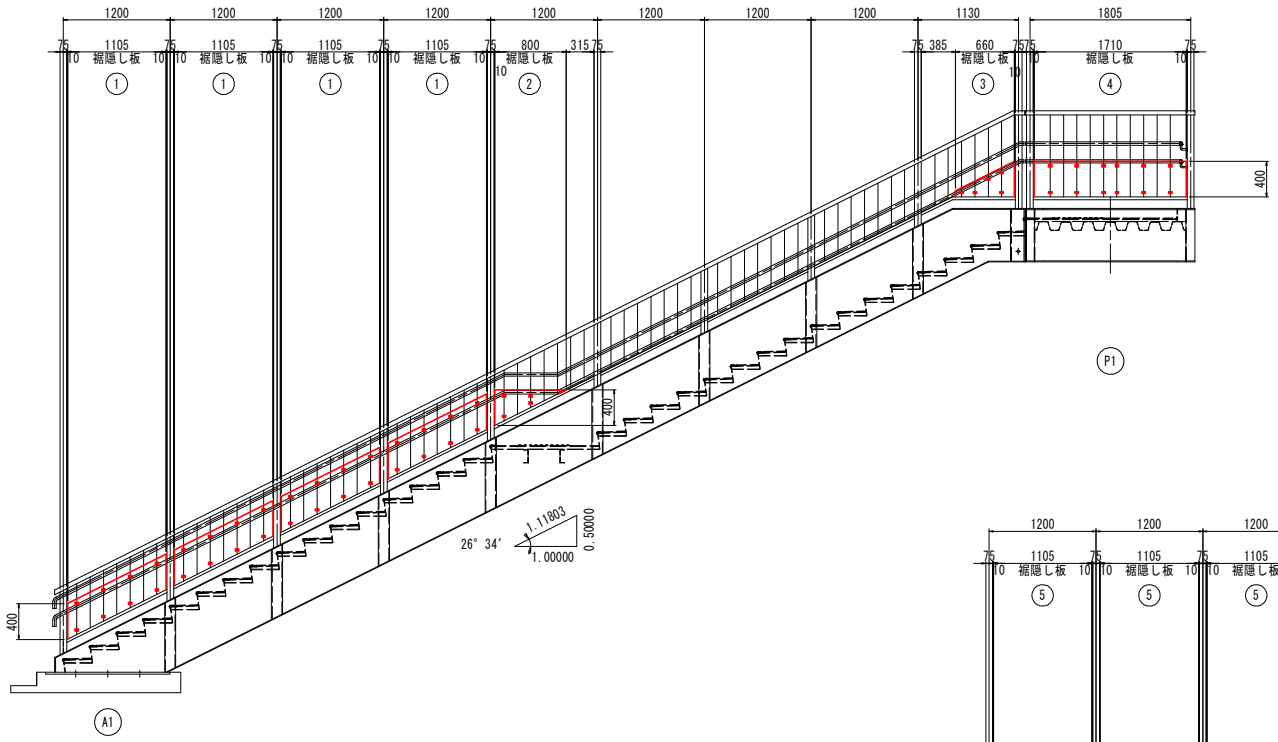
【実施設計図面】

工事名	R8徳土 徳島小松島線他（津田横断歩道橋他） 徳・津田本他 歩道橋修繕工事（習指）
路線名等	徳島小松島線他
工事箇所	徳島市津田本町他（津田横断歩道橋他）
図面名	津田横断歩道橋 鋼部材補修工詳細図(2/2)
縮尺	図示
図面番号	11 ／ 22
年度	令和8年度
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所

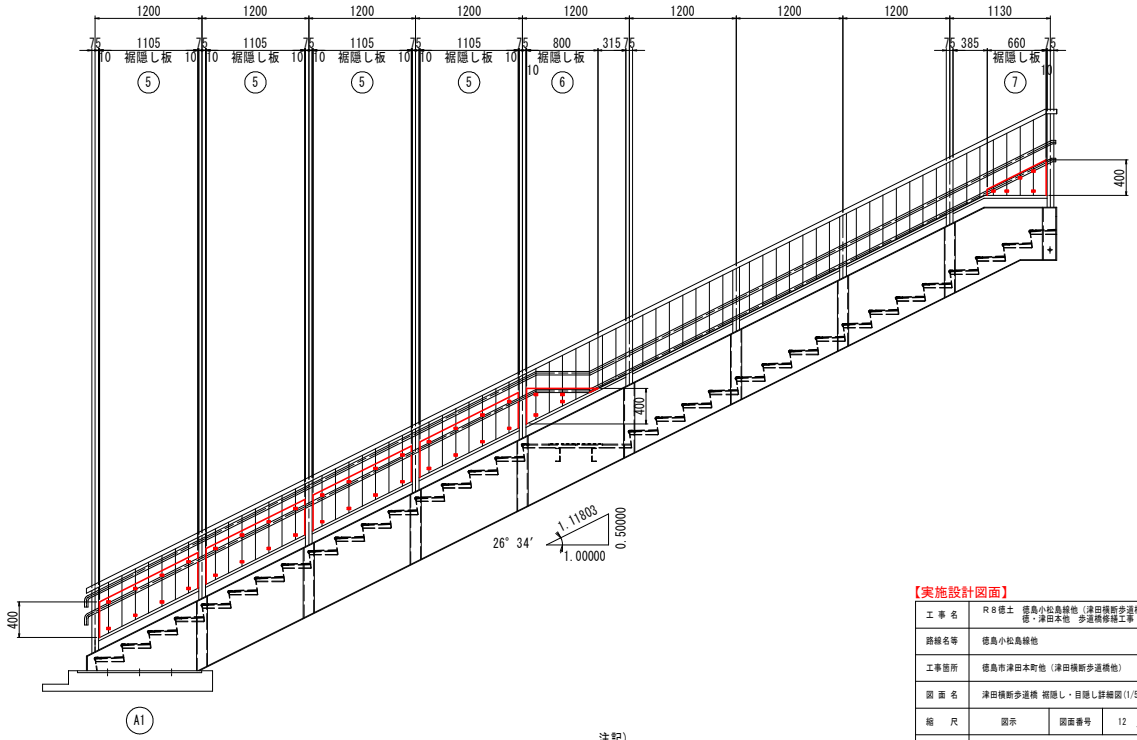
津田横断歩道橋 裾隠し・目隠し詳細図(1/5)

第1径間階段部

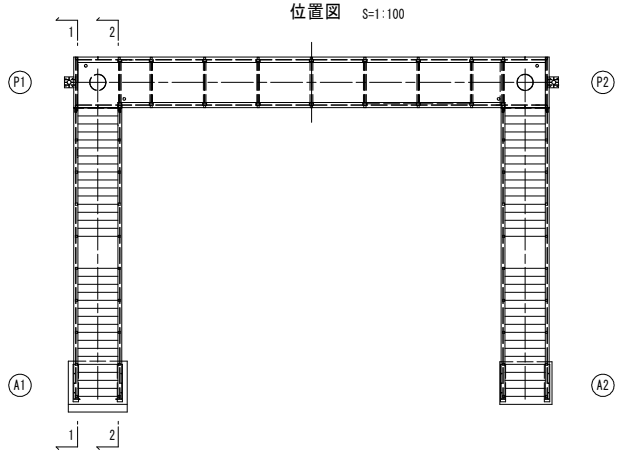
G1側 側面図(1-1) S=1:30



G2側 側面図(2-2) S=1:30



位置図 S=1:100



注記)
1. 裾隠し板および目隠し板の形状は，既設高欄形状を確認の上で決定すること。

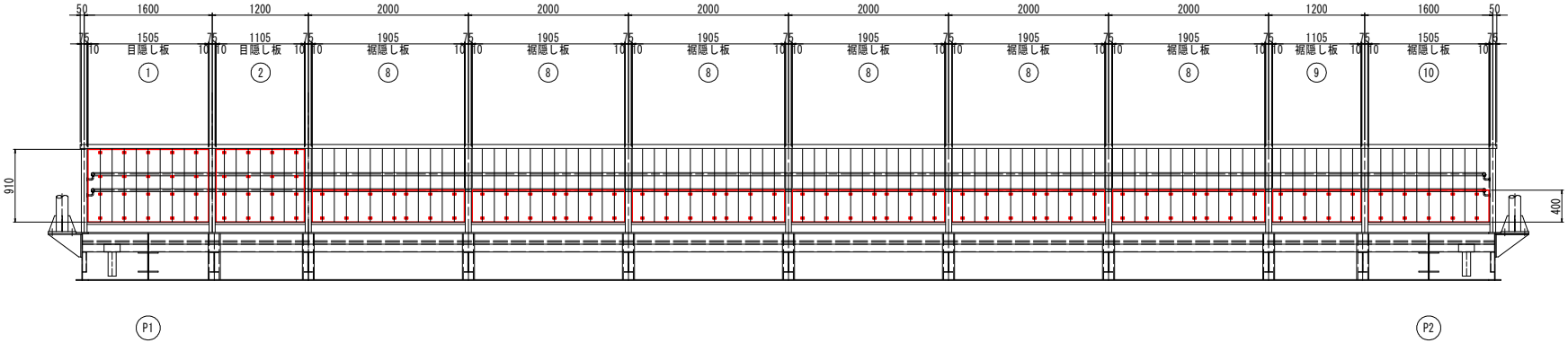
【実施設計図面】

工事名	R8徳土 徳島小松島線他（津田横断歩道橋他） 徳・津田本他 歩道橋修繕工事（岩指）
路線名等	徳島小松島線他
工事箇所	徳島市津田本町他（津田横断歩道橋他）
図面名	津田横断歩道橋 裾隠し・目隠し詳細図(1/5)
縮尺	図示
図面番号	12 ／ 22
年度	令和8年度
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所

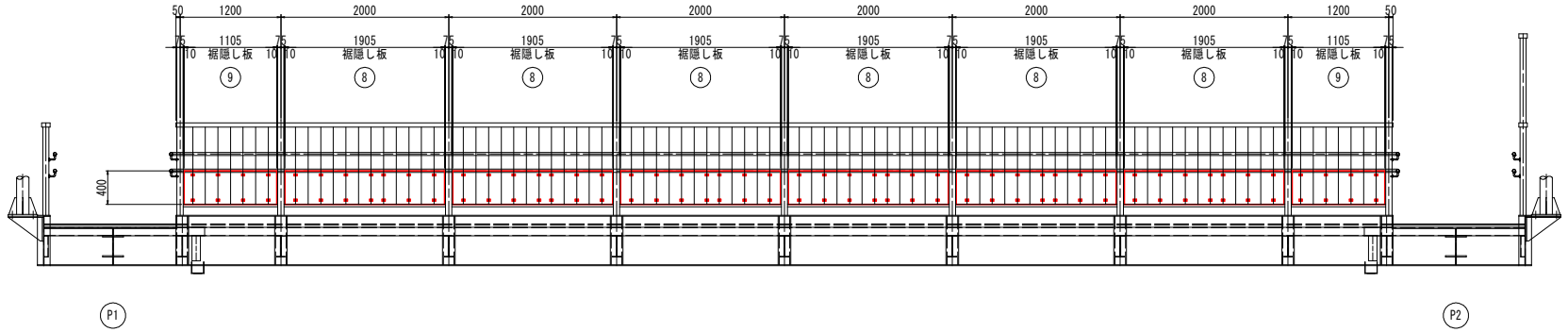
津田横断歩道橋 裾隠し・目隠し詳細図(2/5)

第2径間横断部

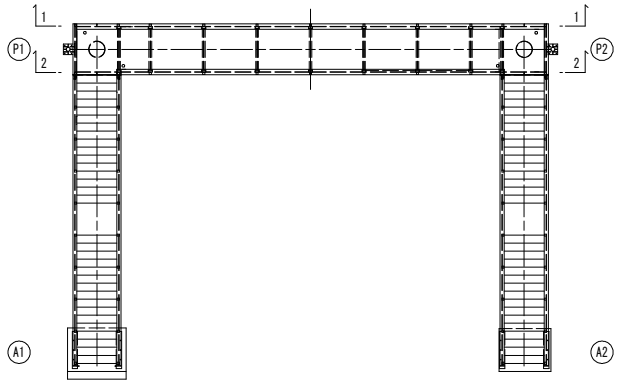
G1側 側面図(1-1) S=1:30



G2側 側面図(2-2) S=1:30



位置図 S=1:100



注記)
1. 裾隠し板および目隠し板の形状は，既設高欄形状を確認の上で決定すること。

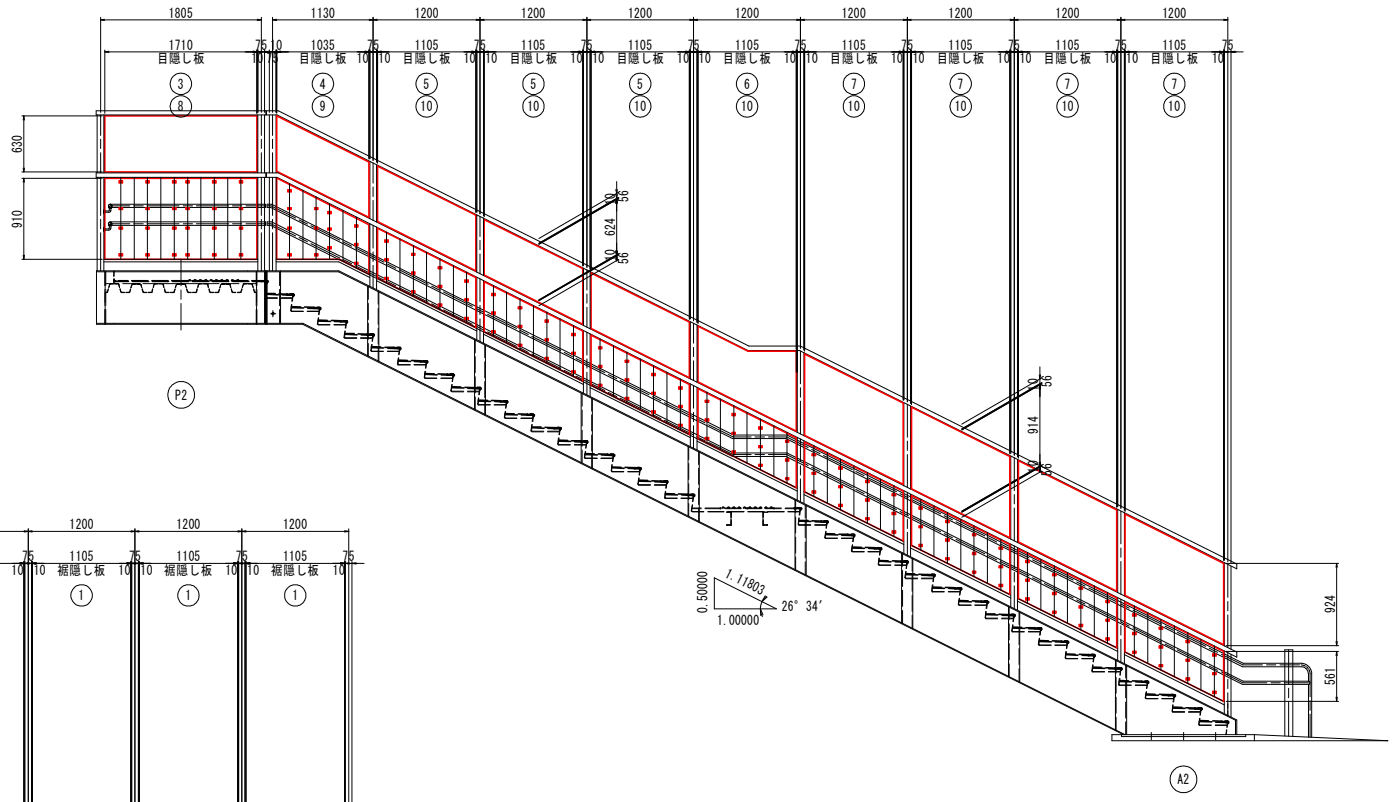
【実施設計図面】

工事名	R8徳土 徳島小松島線他（津田横断歩道橋他） 徳・津田本他 歩道橋修繕工事（着指）		
路線名等	徳島小松島線他		
工事箇所	徳島市津田本町他（津田横断歩道橋他）		
図面名	津田横断歩道橋 裾隠し・目隠し詳細図(2/5)		
縮尺	図示	図面番号	13 ／ 22
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所		

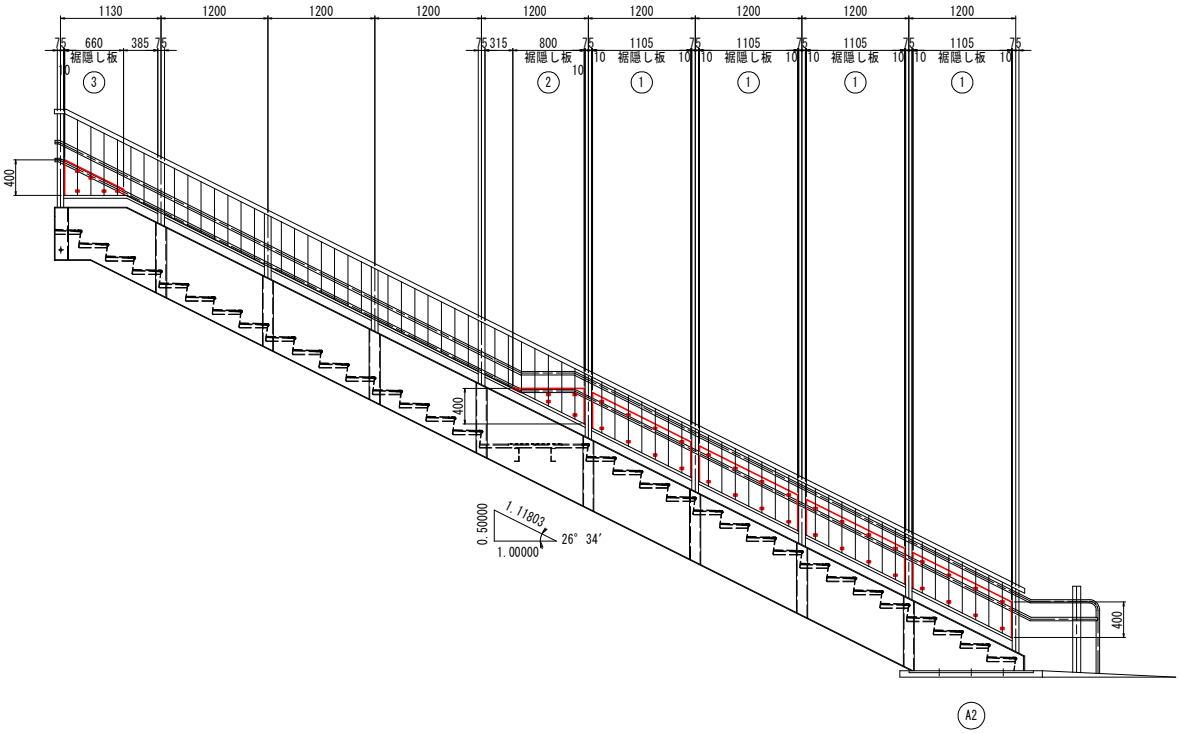
津田横断歩道橋 裾隠し・目隠し詳細図(3/5)

第3径間階段部

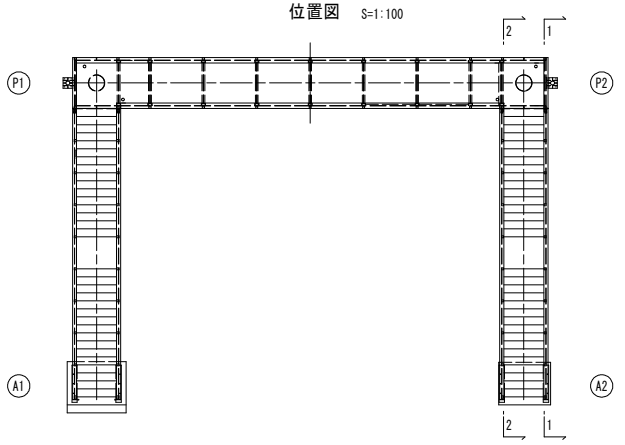
G1側 側面図(1-1) S=1:30



G2側 側面図(2-2) S=1:30



位置図 S=1:100



注記)
1. 裾隠し板および目隠し板の形状は、既設高欄形状を確認の上で決定すること。

【実施設計図面】

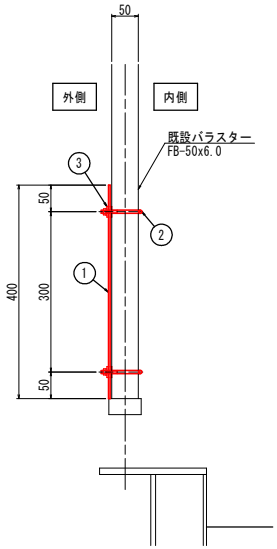
工事名	R8徳土 徳島小松島線他（津田横断歩道橋他） 徳・津田本他 歩道橋修繕工事（道指）		
路線名等	徳島小松島線他		
工事箇所	徳島市津田本町他（津田横断歩道橋他）		
図面名	津田横断歩道橋 裾隠し・目隠し詳細図(3/5)		
縮尺	図示	図面番号	14 ／ 22
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所		

津田横断歩道橋 裾隠し・目隠し詳細図(4/5)

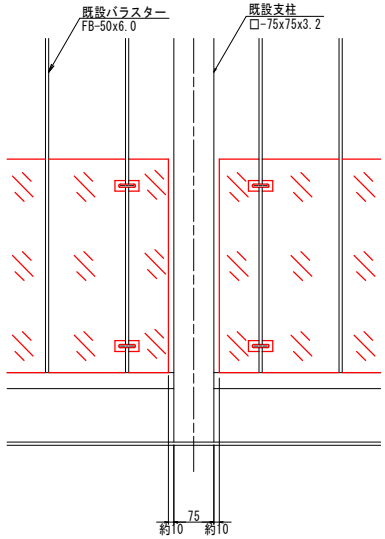
裾隠し板 組立詳細図 S=1:5

ポリカーボネート板 t=3

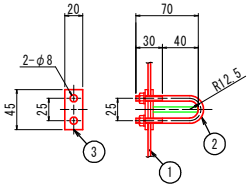
断面図



側面図



Uボルト詳細図 S=1:3

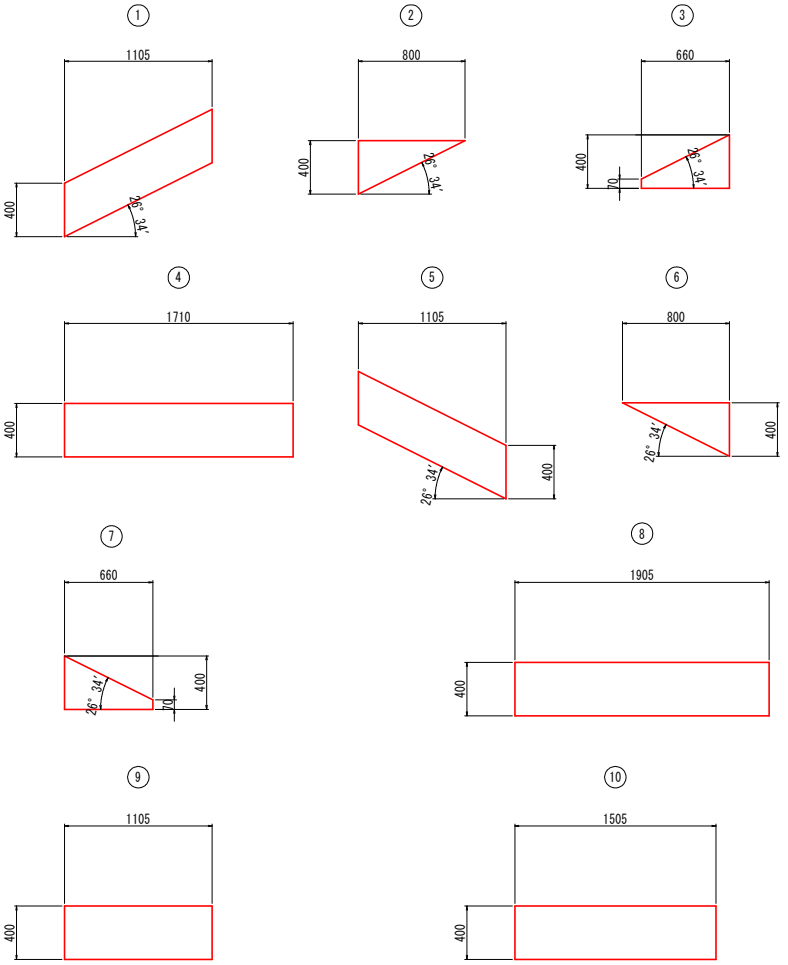


材料表

記号	名称	寸法	材質	備考	数量
1	裾隠し板	t=3	ポリカーボネート		18.005 m2
2	Uボルト	M6(FB-50x6.0用)	SUS304	N(2),SW(2) 付	340 本
3	角座金	20x45x3	SUS304		340 個

注記）Nはナット，SWはスプリングワッシャーを示す。

裾隠し板加工図 S=1:20



裾隠し板数量表

番号	材質	厚み (mm)	数量 (枚)
①	ポリカーボネート板	3.0	8
②	ポリカーボネート板	3.0	2
③	ポリカーボネート板	3.0	2
④	ポリカーボネート板	3.0	1
⑤	ポリカーボネート板	3.0	4
⑥	ポリカーボネート板	3.0	1
⑦	ポリカーボネート板	3.0	1
⑧	ポリカーボネート板	3.0	12
⑨	ポリカーボネート板	3.0	3
⑩	ポリカーボネート板	3.0	1

注記）
1. 裾隠し板の形状および孔明箇所は，既設高欄形状を確認の上で決定すること。

【実施設計図面】

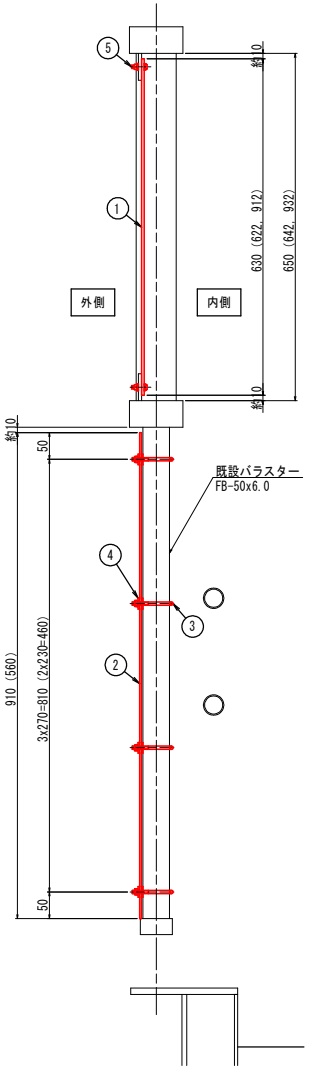
工事名	R8徳土 徳島小松島線他（津田横断歩道橋他） 徳・津田本他 歩道橋修繕工事（着指）
路線名等	徳島小松島線他
工事箇所	徳島市津田本町他（津田横断歩道橋他）
図面名	津田横断歩道橋 裾隠し・目隠し詳細図(4/5)
縮尺	図示
図面番号	15 ／ 22
年度	令和8年度
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所

津田横断歩道橋 裾隠し・目隠し詳細図(5/5)

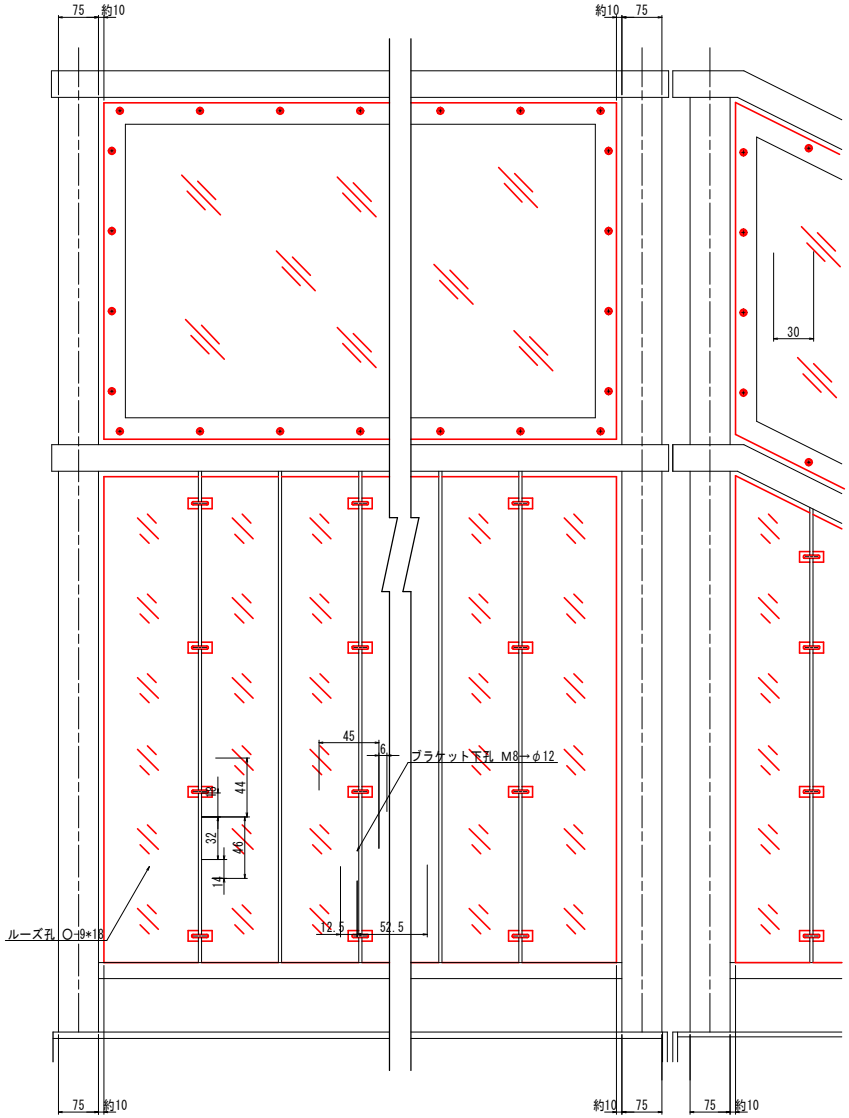
目隠し板 組立詳細図 S=1:5

ポリカーボネート板 上段：t=5 下段:t=3

断面図

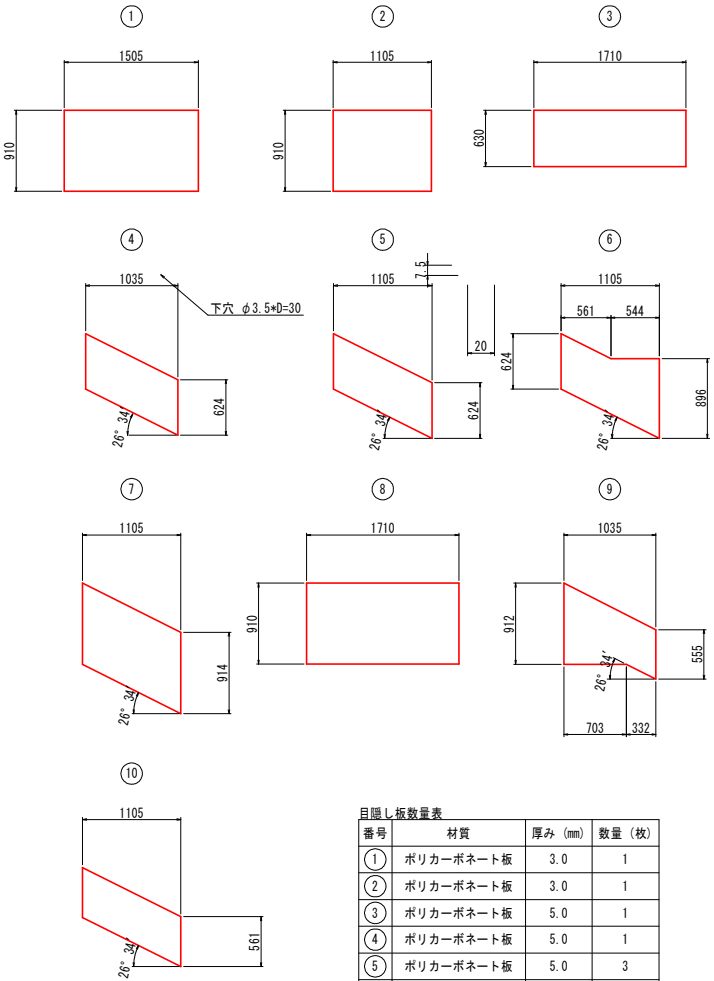


側面図



注記）（ ）内寸法は勾配部を示す。

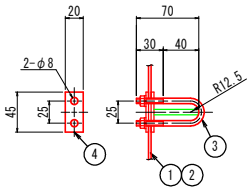
目隠し板加工図 S=1:30



目隠し板数量表

番号	材質	厚み（mm）	数量（枚）
①	ポリカーボネート板	3.0	1
②	ポリカーボネート板	3.0	1
③	ポリカーボネート板	5.0	1
④	ポリカーボネート板	5.0	1
⑤	ポリカーボネート板	5.0	3
⑥	ポリカーボネート板	5.0	1
⑦	ポリカーボネート板	5.0	4
⑧	ポリカーボネート板	3.0	1
⑨	ポリカーボネート板	3.0	1
⑩	ポリカーボネート板	3.0	8

Uボルト詳細図 S=1:3



材料表

記号	名称	寸法	材質	備考	数量
1	目隠し板（上段）	t=5	ポリカーボネート		8.694 m2
2	目隠し板（下段）	t=3	ポリカーボネート		9.591 m2
3	Uボルト	M6(FB-50x6.0用)	SUS304	N(2),SW(2) 付	169 本
4	角座金	20x45x3	SUS304		169 個
5	丸小ねじ	M6x25	SUSXM7		---

注記）Nはナット，Wはワッシャー，SWはスプリングワッシャーを示す。

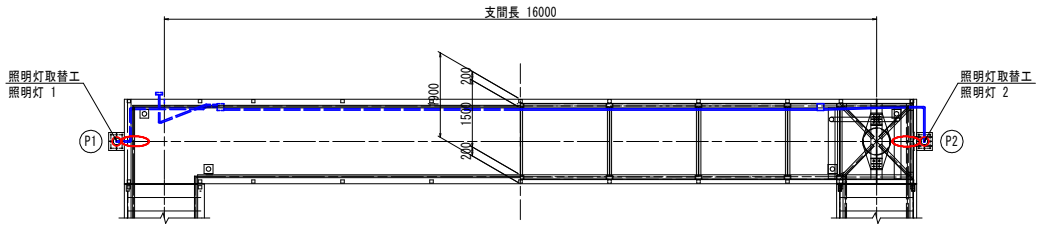
注記）
1.目隠し板の形状および孔明箇所は，既設高欄形状を確認の上で決定すること。

【実施設計図面】

工事名	R8徳土 徳島小松島線他（津田横断歩道橋他） 徳・津田本他 歩道橋修繕工事（善指）
路線名等	徳島小松島線他
工事箇所	徳島市津田本町他（津田横断歩道橋他）
図面名	津田横断歩道橋 裾隠し・目隠し詳細図(5/5)
縮尺	図示
図面番号	16 ／ 22
年度	令和8年度
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所

津田横断歩道橋 照明灯取替工詳細図(1/2)

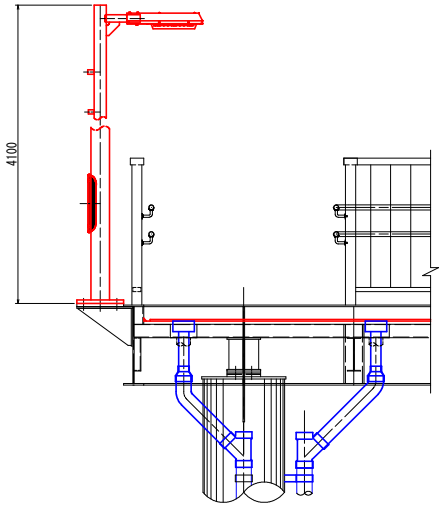
平面図 S=1:60



凡例

記号	名称	規格	数量
	照明灯 1	LED歩道用照明器具 : LXRA1/2-30W-3、歩道用照明柱 : H=4.0m、自動点滅器共架	1本
	照明灯 2	LED歩道用照明器具 : LXRA1/2-30W-3、歩道用照明柱 : H=4.0m	1本

横断部側面図 S=1:20

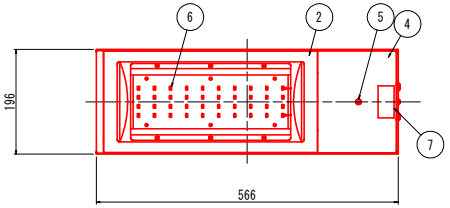


照明器具詳細図 S=1:5

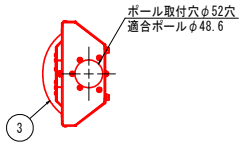
側面図



平面図



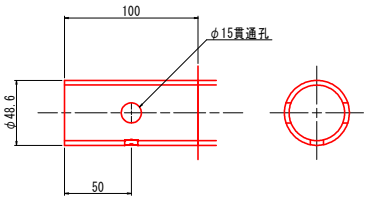
断面図



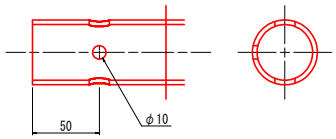
番号	部 品 名	個数	材 質	摘 要
1	本体	1	アルミニウム	粉体焼付塗装(白)
2	枠	1	アルミニウム	粉体焼付塗装(白)
3	アクリル	1	アクリル	透明
4	蓋	1	アルミニウム	粉体焼付塗装(白)
5	蓋取付けネジ	2	黄銅	スリ割り付ローレットビス(M4)
6	LED(内部)	40		高輝度 白色
7	ラベル(蓋裏)	1		材色:銀

ポール差込口穴あけ加工図 S=1:2

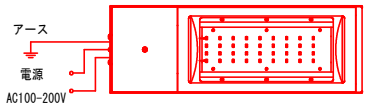
〈ポール側面〉
落下防止用孔加工



〈ポール下面〉
回転防止用孔加工



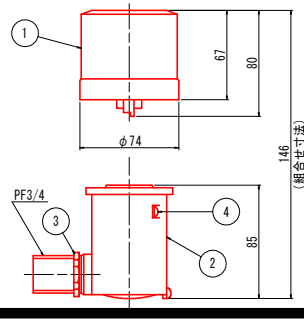
結線図



定格

入力電圧	100/200 V	光源色	5000 K
定格周波数	60/50 Hz	LED光束	4500 lm
入力電流	0.35/0.175 A	演色性	Ra70
入力電力	34 W	使用環境温度	-10～40 ℃
		質量	3.6 kg

自動点滅器詳細図 S=1:2



自動点滅器特性

定格電圧(V)	周波数(Hz)	定格負荷電流(A)		消費電力(W)		動作照度(lx)		点滅回数(回)
		白熱灯	放電灯	点灯中	消灯中	点灯	消灯	
200	50/60	6	安定時6	0	1.5	10～80	400以下	2000

番号	部 品 名	個数	材 質	摘 要
1	本体	1	アクリル樹脂	乳白
2	受台	1	メラミンフェノール樹脂	青色 BCL215
3	ロックナット	1	銅板	電線管 22用
4	端子ねじ	4	黄銅	+ねじ

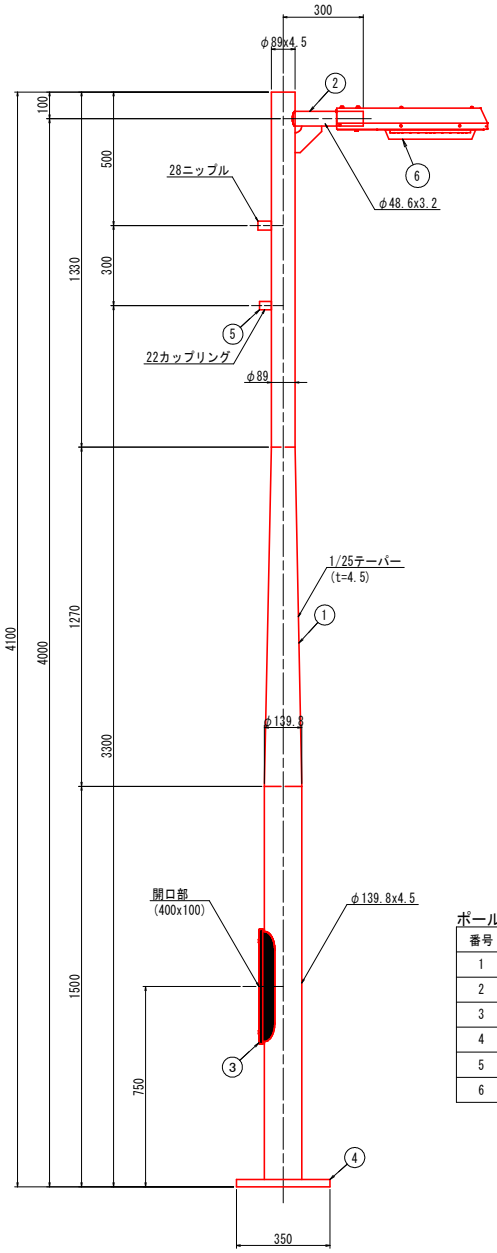
注記)
1.施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
2.寸法は、現場実測後決定する。

【実施設計図面】

工事名	R8徳土 徳島小松島線他(津田横断歩道橋他) 徳・津田本他 歩道橋修繕工事(岩指)
路線名等	徳島小松島線他
工事箇所	徳島市津田本町他(津田横断歩道橋他)
図面名	津田横断歩道橋 照明灯取替工詳細図(1/2)
縮尺	図示
図面番号	17 / 22
年度	令和8年度
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所

津田横断歩道橋 照明灯取替工詳細図(2/2)

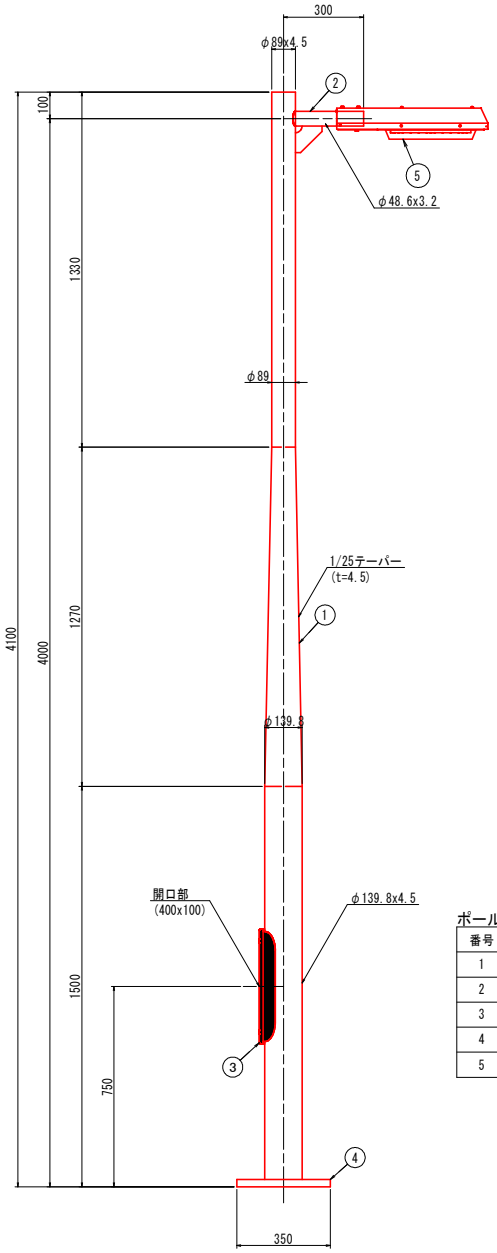
照明灯設置図(照明灯1) S=1:10



ポール仕様一覧 (照明灯1)

番号	部 品 名	個数	材 質	摘 要
1	ポール	1	テーパーポール t4.5	溶融亜鉛メッキ
2	アーム	1	φ48.6 t3.2	溶融亜鉛メッキ
3	蓋	1	SS t3.2	溶融亜鉛メッキ
4	ベースプレート	1	SS t28	溶融亜鉛メッキ
5	22mmカップリング	1	SS	溶融亜鉛メッキ
6	LED照明器具	1	アルミなど	電源装置一体型

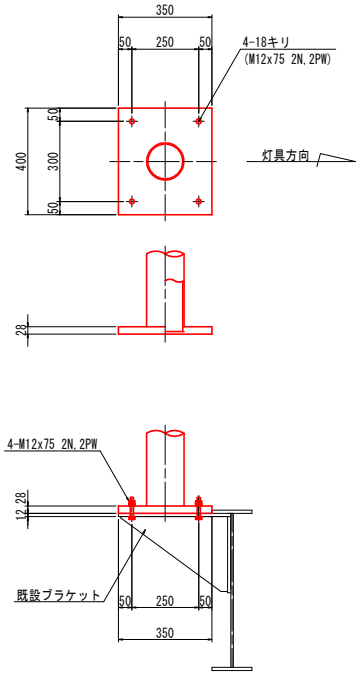
照明灯設置図(照明灯2) S=1:10



ポール仕様一覧 (照明灯2)

番号	部 品 名	個数	材 質	摘 要
1	ポール	1	テーパーポール t4.5	溶融亜鉛メッキ
2	アーム	1	φ48.6 t3.2	溶融亜鉛メッキ
3	蓋	1	SS t3.2	溶融亜鉛メッキ
4	ベースプレート	1	SS t28	溶融亜鉛メッキ
5	LED照明器具	1	アルミなど	電源装置一体型

ベースプレート詳細図 S=1:10

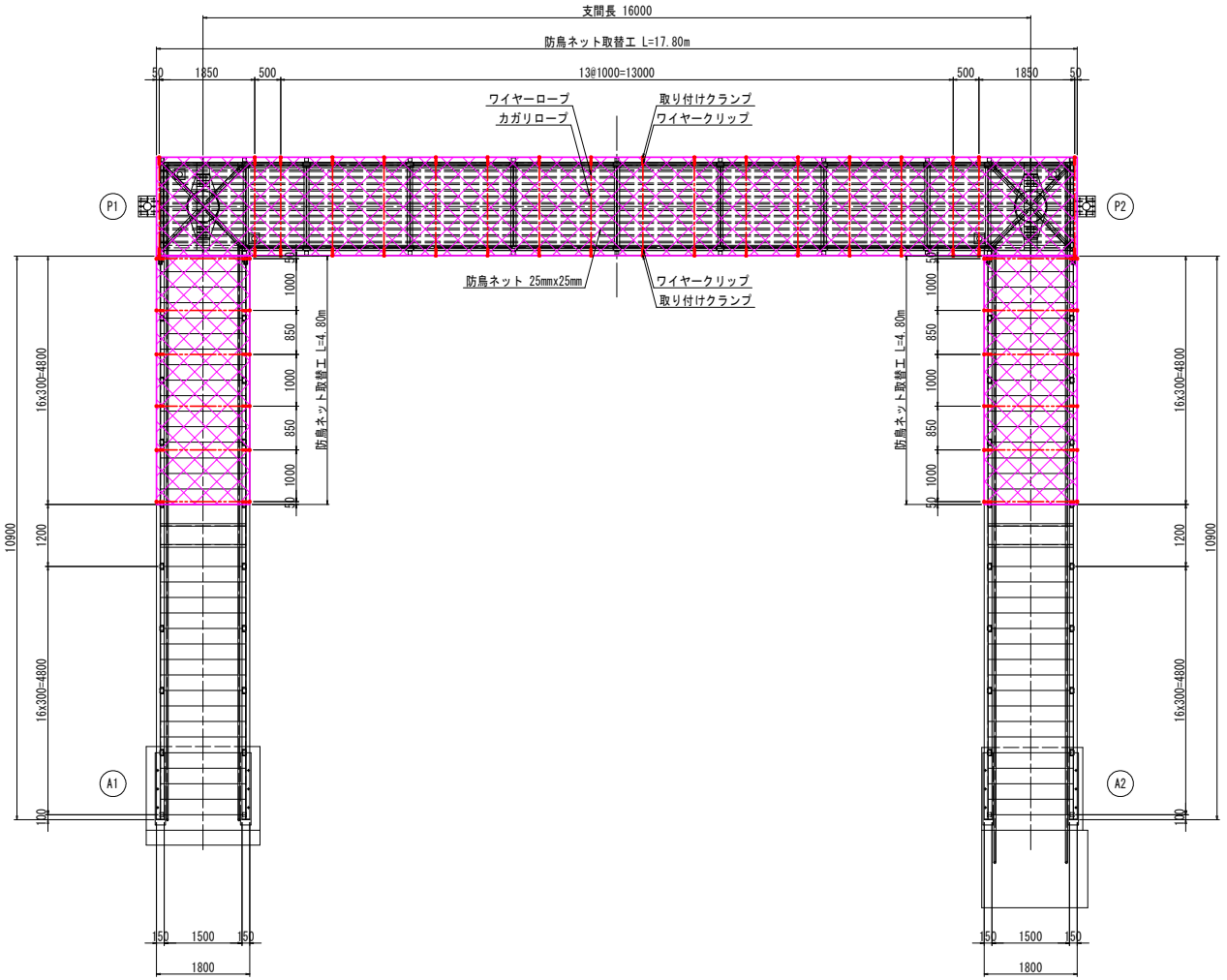


【実施設計図面】

工事名	R8徳土 徳島小松島線他（津田横断歩道橋他） 徳・津田本他 歩道橋修繕工事（道指）
路線名等	徳島小松島線他
工事箇所	徳島市津田本町他（津田横断歩道橋他）
図面名	津田横断歩道橋 照明灯取替工詳細図(2/2)
縮尺	図示
図面番号	18 ／ 22
年度	令和8年度
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所

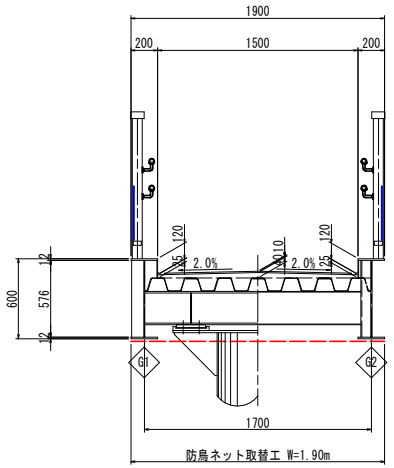
津田横断歩道橋 防鳥対策工詳細図

平面図 S=1:50



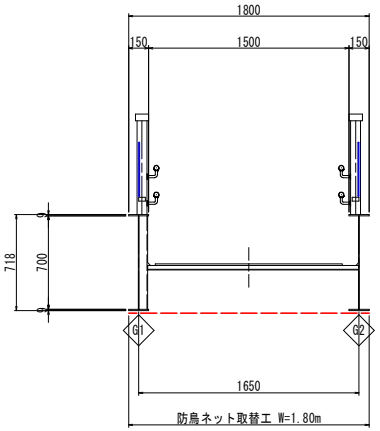
横断部断面図 S=1:20

支点部　　中間部

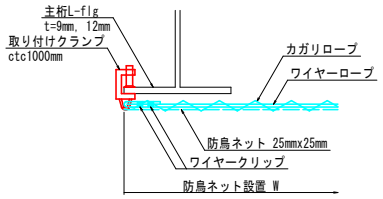


階段部断面図 S=1:20

補剛材設置部　　中間部



取り付け要領図 S=1:5



防鳥ネット材料表

品　名	規　格	数　量
ポリエチレンネット	440T3本25mm目(シルバー) 1.9m×17.8m	1.0 枚
ポリエチレンネット	440T3本25mm目(シルバー) 1.8m×4.8m	2.0 枚
ポリエチレンロープ	4φ(2m切り)	200.0 m
H鋼金具	ドブメッキ	66.0 個
ワイヤーロープ	4φメッキ	67.0 m
ワイヤークリップ	4φメッキ	48.0 個

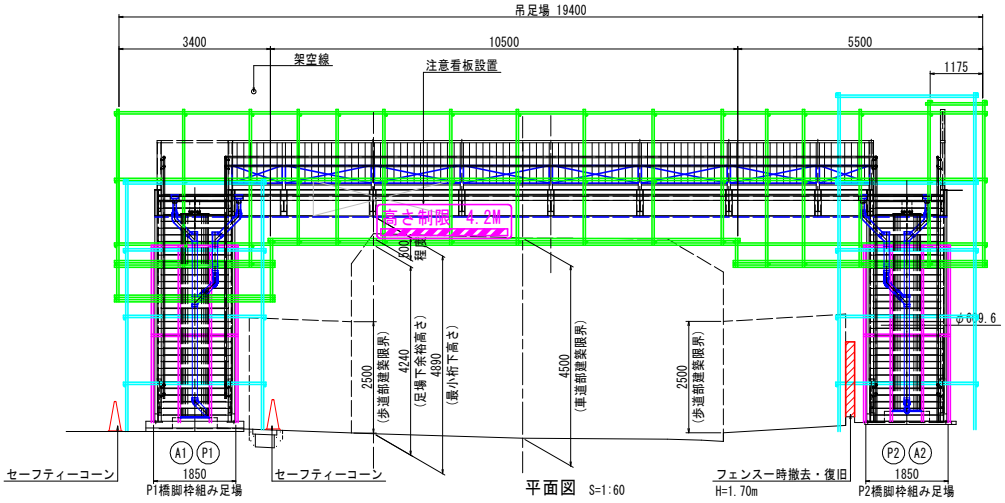
注記)
1. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
2. 寸法は、現場実測後決定する。

【実施設計図面】

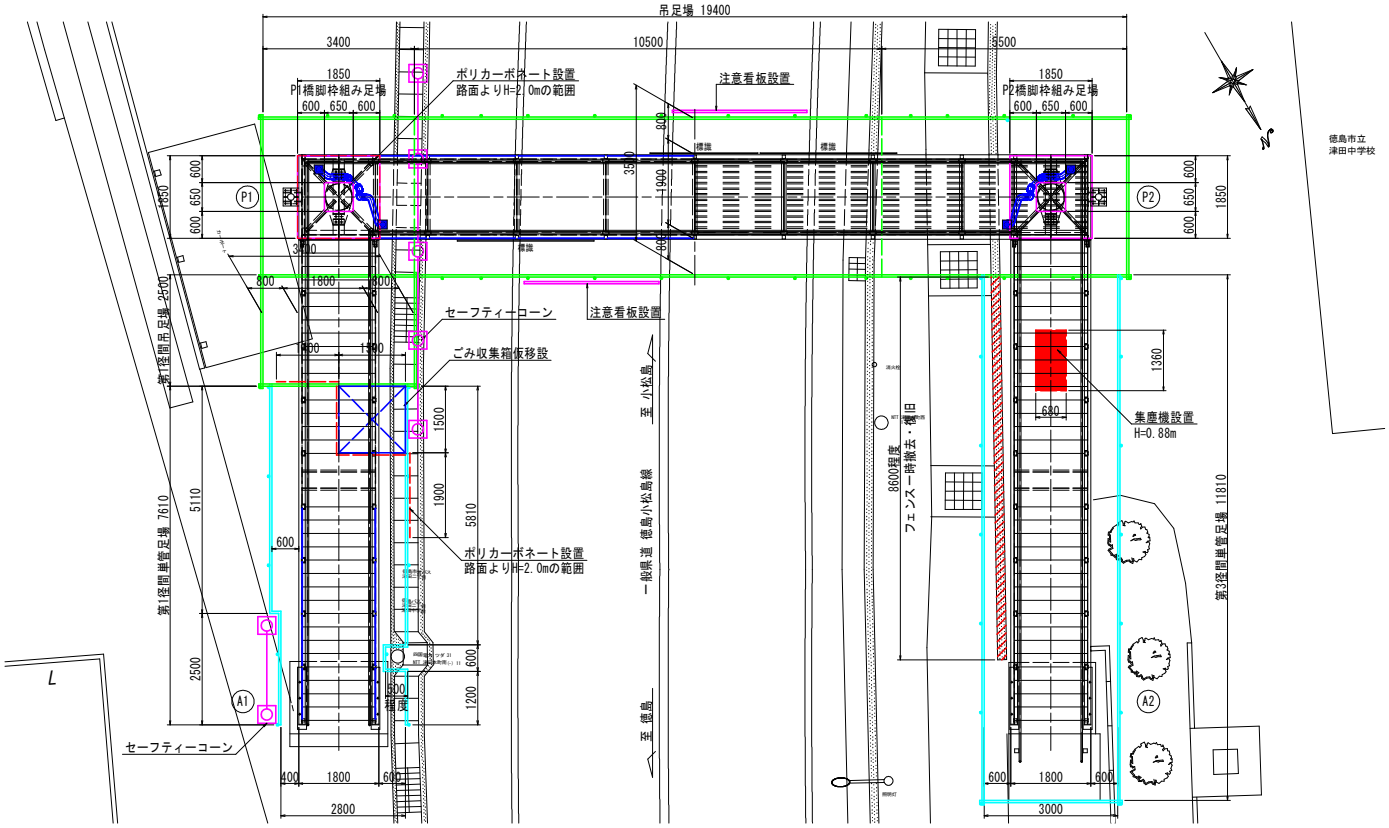
工事名	R8徳土　徳島小松島線他（津田横断歩道橋他） 徳・津田本他　歩道橋修繕工事（善指）		
路線名等	徳島小松島線他		
工事箇所	徳島市津田本町他（津田横断歩道橋他）		
図面名	津田横断歩道橋 防鳥対策工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	19 ／ 22
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所		

津田横断歩道橋 足場設置計画図（1/2）

側面図 S=1:60

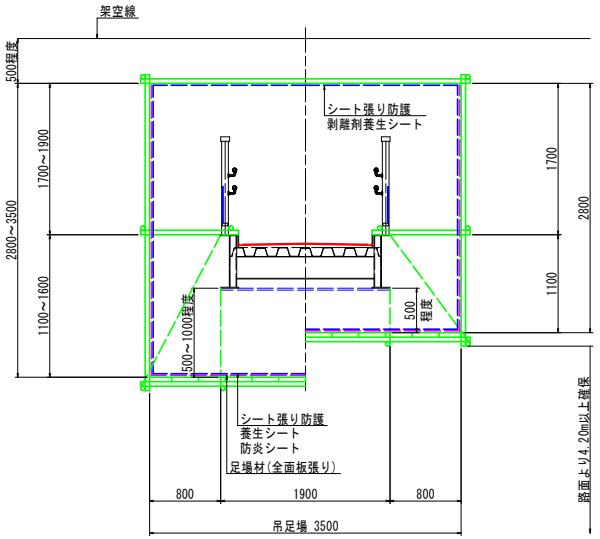


平面図 S=1:60

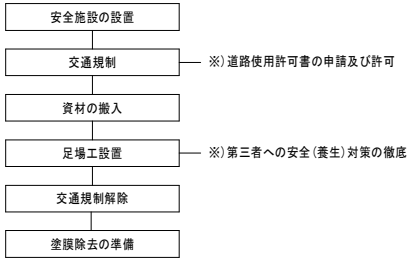


横断部断面図 S=1:30

橋脚周辺部　　標準部



準備作業施工手順



作業概要の補足

1. 起終点の階段部を安全施設(セーフティコーン)で囲い，工事区域を明確に示す。また，工事区域内立ち入り禁止の看板を設置し，第三者への安全を図る。
2. 資材運搬車両を工事区域内に移動し，資材の搬入を行う。
3. 起終点の階段部脚柱に塗装用足場，仮囲いを設置する。
4. 道路横断部の吊足場を設置する。この時は，路面から高さに配慮すること。本路線は，公安委員会が定める自動車の積載物の高さの制限のある路線に該当しており，公安委員会が定める自動車の積載物の高さの制限が4.1mであるため，吊足場設置高さを4.2mとしている。
5. 規制方法等については，保安施設配置図(参考図)を参照すること。

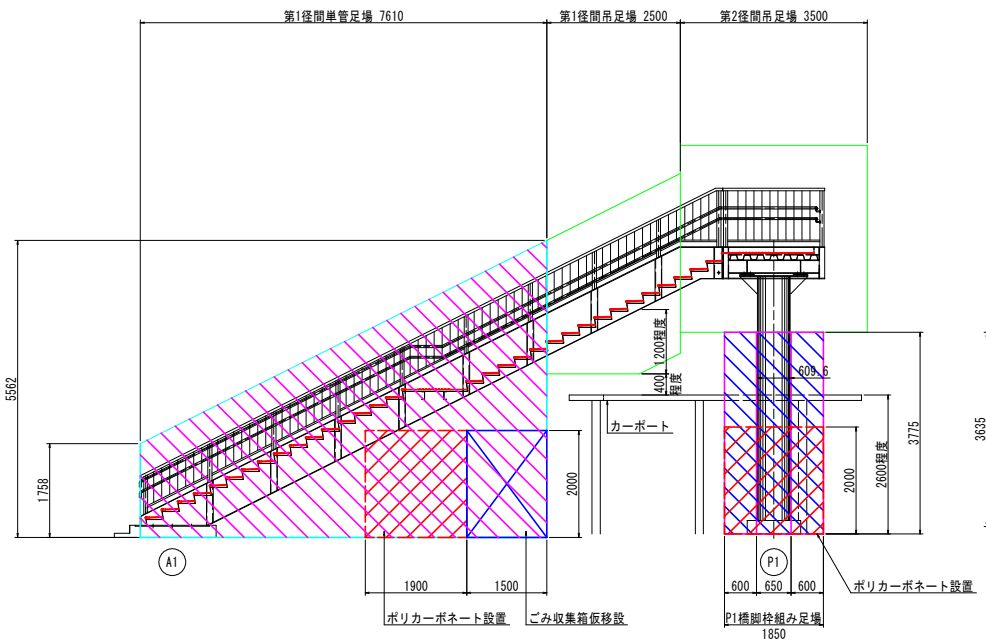
注記)
1. 足場設置要領は参考であり，実際の規制に当たっては，施工業者にて決定のこと。
2. 安全施設においては，現地の状況に合わせて設置すること。
3. 通行規制の際はその内容を通行車両に明示すること。
4. 本橋の既存塗装材料には，「鉛又はその他化合物」が含まれているため，鉛中毒予防規則等関係法令に従い，湿式による作業の実施，作業責任者の選任と適切な作業指示の実施，有効な保護具の着用等を実施すること。
5. 終点側階段部は市立津田中学校敷地内に設置されている。足場および防護工を設置する際は，事前に学校側と協議を行うこと。
6. 本図面では，近接する既設構造物等に配慮して，単管足場の最小幅を0.40mとしているが，現地確認に上足場幅について決定すること。
7. 起点側階段部の吊足場範囲において，車両の侵入を防ぐため，路線側歩道部にセーフティーコーンを設置すること。
8. 民地や学校が隣接するため，騒音の発生に配慮し，必要に応じて防音シートの設置を検討すること。

【実施設計図面】

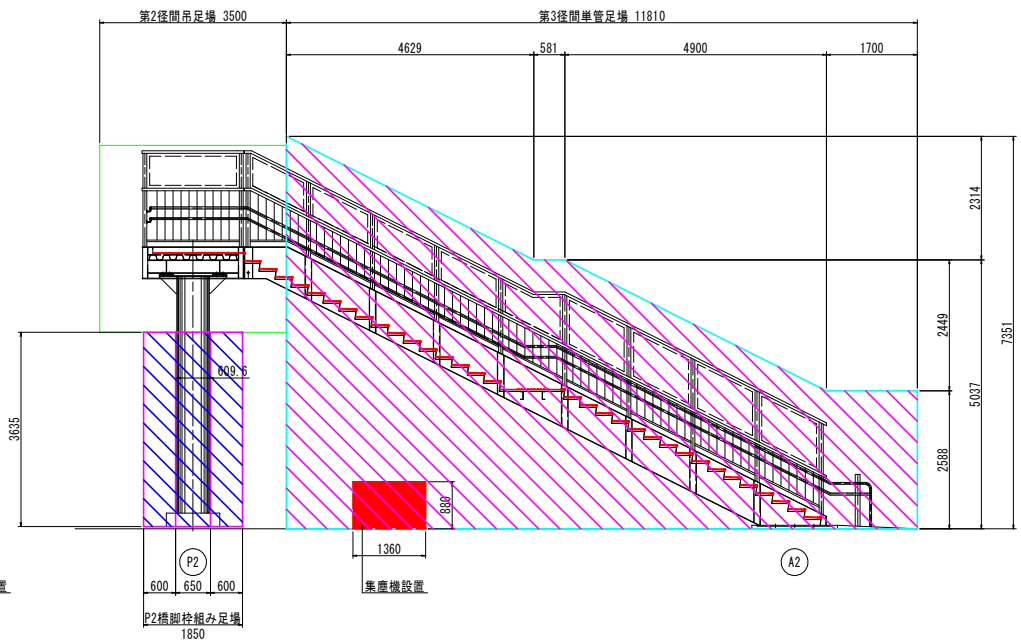
工事名	R8徳土　徳島小松島線他（津田横断歩道橋他） 徳・津田本他　歩道橋修繕工事（道指）		
路線名等	徳島小松島線他		
工事箇所	徳島市津田本町他（津田横断歩道橋他）		
図面名	津田横断歩道橋 足場設置計画図（1/2）		
縮尺	図示	図面番号	20 ／ 22
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所		

津田横断歩道橋 足場設置計画図（2/2）　S=1:50

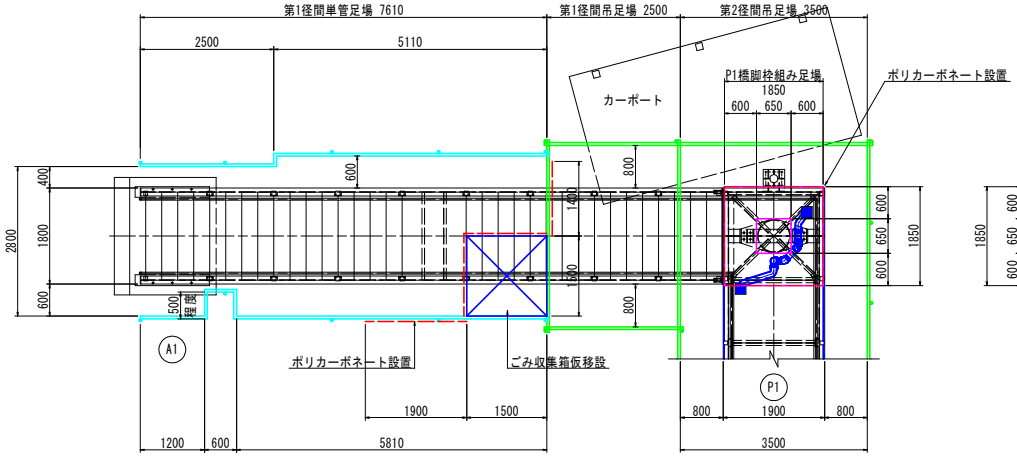
起点側足場側面図



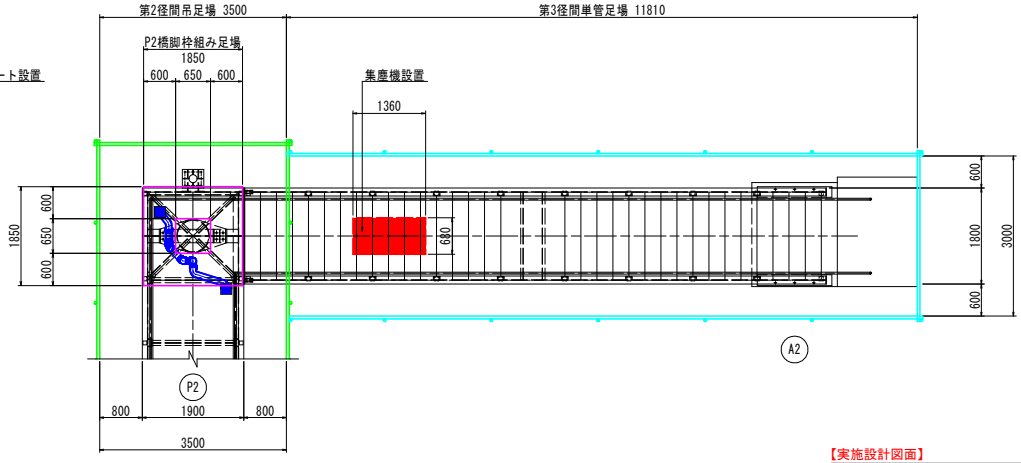
終点側足場側面図



起点側足場平面図



終点側足場平面図

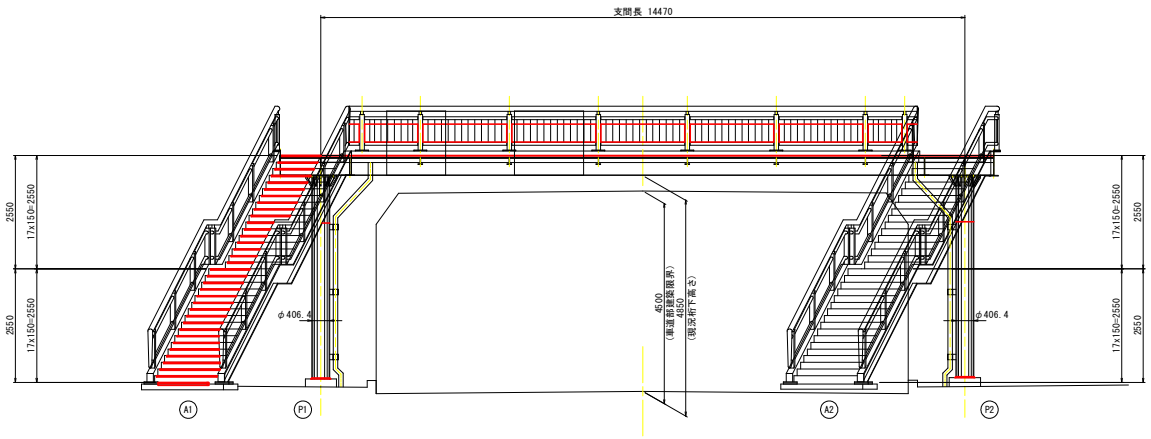


【実施設計図面】

工事名	R8徳土　徳島小松島線他（津田横断歩道橋他） 徳・津田本他　歩道橋修繕工事（着指）		
路線名等	徳島小松島線他		
工事箇所	徳島市津田本町他（津田横断歩道橋他）		
図面名	津田横断歩道橋 足場設置計画図（2/2）		
縮尺	S=1:50	図面番号	21 ／ 22
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所		

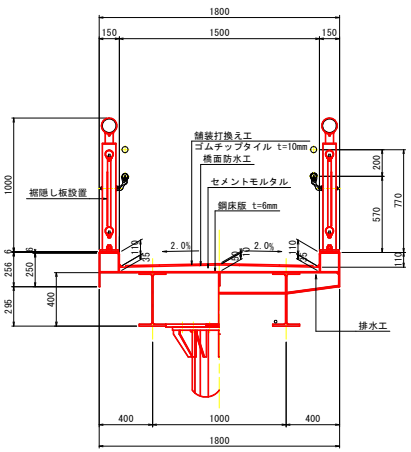
東大工町歩道橋 補修計画一般図

側面図 S=1:60

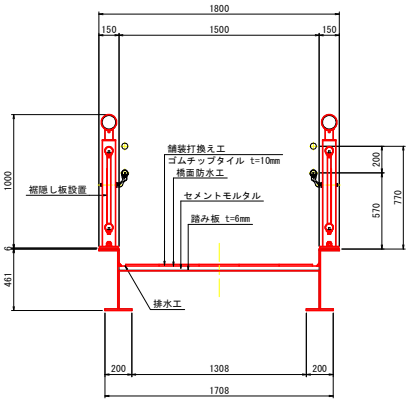


横断部断面図 S=1:20

支点部　　中間部



階段部断面図 S=1:20

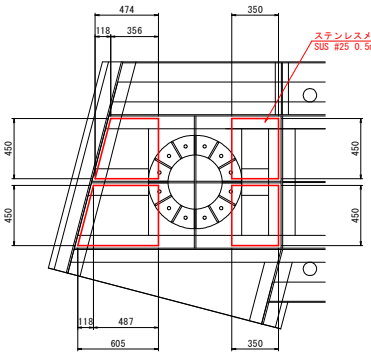


平面図 S=1:60

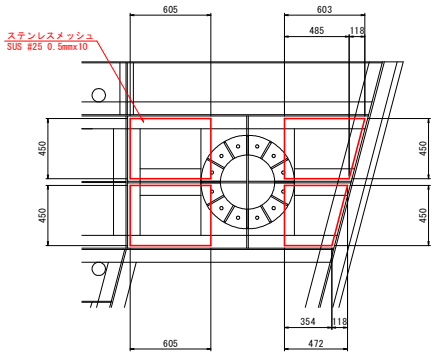


防鳥対策設置工 S=1:20

P1橋脚部平面図



P2橋脚部平面図



補修工事内容一覧

工種		仕様	工種
塗替塗装工		Rc-II塗装系, 落書き-貼り紙防止塗装 鋼転換型防食塗装	
橋面舗装工	横断部	ゴムチップタイル舗装	
	階段部	ゴムチップタイル舗装	
防護柵工		裾隠し板設置工	
バリアフリー対策工		視覚障害者用誘導タイル設置(横断部, 階段部) 手摺り用点字表示板設置	
その他工事		シール工(橋脚基礎部), 防鳥対策設置工	

注記)
1. 施工前に調査を実施し, 施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
2. 寸法は, 現場実測後決定する。

【実施設計図面】

工事名	R8徳土　徳島小松島線他（津田横断歩道橋他） 徳・津田本他　歩道橋修繕工事（善指）		
路線名等	徳島小松島線他		
工事箇所	徳島市津田本町他（津田横断歩道橋他）		
図面名	東大工町歩道橋 補修計画一般図		
縮尺	図示	図面番号	22 ／ 22
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県徳島県土整備事務所		